



報 会 窓 同 工 會

2021



福島県立会津工業高等学校

校 歌

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

峯は秀づる磐梯山
水はた、ふる猪苗代
これぞ乾坤秀麗の
精氣あつまりなる處
明治三十七春中ば
礎かたく築かれて
星霜こゝに幾かへり
平和の覇者を育みぬ
身には白虎の粹をうけ
鶴を章に雄々しくも
至誠勤勞一筋に
進む健兒の意氣高し
屹つ峯は嶮しくも
寄せ来る波は高くとも
これ闘の活舞臺
これぞ我等の天地なる



『同窓会会報発行にあたって』

同窓会 会長 浅田 誠

(昭43年電気科卒)

寒風が身にしみるように感じる今日この頃、全国各地でご活躍されておられます同窓生の皆様方、一昨年末猛威を振るっておりまして「新型コロナウイルス禍」の収束の兆しも見えない昨今にあつて、いかがお過ごしでしょうか。

「新型コロナウイルス禍」何するものぞ!」との会工魂を持つて皆様頑張っておられる事と拝察し、心より安堵するとともに、皆様方の奮起に敬意を表しているところであります。

今、この禍も小康状態にあるとは言え、いつ第6波、7波と再度猛威を振るうかもしれないし、加えてインフルエンザの影響も危惧され、いつになったら安心・安全で快適な、以前の状態になるのか待ち焦がれる今日この頃でもあります。

この様な中、毎年10月の第3土曜日に実施してきました本年(2021・令和3年)の「第114回総会」も本部役員会で提出議案を議決し、過日各支部代表者宛「書面決裁」をお願いをし、11月10日(水)に全議案に対して可決承認を得る事が出来ました。詳細は次頁以降の掲載内容をご確認頂き、ご理解を深めて頂くと共に、今後とも引き続きのご協力ご支援を私の立場から心より厚く御礼とお願いを申し上げます。

昨年に引き続き本年も2年連続で年1回の最重要会議の総会が書面決裁対応となつてしまつた事は甚だ残念ではありますが、世情のうす勢としてご了承頂きたいと存じます。

今回提出しました7号議案 令和4年度・5年度役員改選の議案も承認され、不肖な私が第20代の同窓会会長に就任する事になりました。同窓会の経験も浅く、ましてや全国規模の組織のリーダーとしての裁量も乏しく、優柔不断な性格から、即断適切な判断力に欠けると

自己評価する中で役務が勤まるかどうか不安と動揺が交錯して藁にも縋る思いであります。しかしながら、今回承認されました私以外の新役員のメンバーは適任者揃いでありまして、この上ない力強さを感じているところであります。この新役員体制であれば、小生の力不足を充分補つて頂けるものと実感し、勇気の湧く思いでありまして、何とか任務を全うしようとの思いに至っている昨今であります。

藤田前会長が病氣療養のため今期で退任されますが、就任当初から目標に掲げ提唱してきた2022・令和4年にあたります「本校創立百二十周年」への取り組みを、学校、PTA、同窓会が三位一体となつて成功裏に開催できるよう藤田前会長の意を継承し、同窓会の総力を結集して対応する事を第一に考え、行動して行きたいと考えております。

第2には、同窓会組織の強化、拡充に対する取り組みです。全国的な組織課題と認識しておりますが、各組織間の意見交換を中心にながら、お互いの「情報の共有化」により難解に積極果敢に挑戦して行きたいと考えております。

折りしも、本年は各組織とも改選期と思いますので、この事を一つの取り組みに加えて頂き、共に頑張る事を誓い合えれば望外の幸せであります。

結びに、先の読めない且つ予測不可能な世情にあつて、頼りになるのは先輩諸兄のアドバイスであり、新体制の羅針盤としてお力をお貸し頂く事をお願い申し上げますと共に、同窓生皆様方の益々のご活躍と御健勝、御多幸そしてご指導、ご鞭撻並びにご支援、ご協力をお願い申し上げます。



同窓会長を辞して

福島県立会津工業高等学校 前会長 藤田 晴史

(昭和40年電気科卒)

会員の皆様には日頃より同窓会活動にご理解とご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年より続く新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延により二年連続で総会が中止となり皆様と久しくお会いできず残念です。来年は笑顔でお会いできるよう願っております。

私事ですが昨年より健康状態が思わしくなく、二年続けて内臓の手術を受け、この会報が発行される頃は闘病中となります。このような状況では会長の職務を全うする事は難しいと考え、十月二十一日の役員会で辞任を申し出て承認をいただきました。平成二十九年の総会で若狭会長の後任として選任され二期四年間、会長職を担ってきました。この間、同窓会役員の皆様、又会員の皆様のご協力とご支援により無事務めることができました。心よりお礼申し上げます。

これからは、全国的な少子化により、母校の学科の減少に伴い入学者も減少し財政的にも同窓会運営も厳しい状況が予想されます。又来年の母校で百二十周年記念を目の前にしての辞任は大変申し訳なく思いますがご理解をいただければと思います。

今後は微力ながら同窓会発展に協力してまいりたいと考えます。

永い間大変お世話になりました。

重ねて感謝とお礼を申し上げます。

第114回(2021)同窓会総会に 替わる書面決裁報告

幹事長 木村 洋一

会員の皆様には日頃より同窓会の事業運営にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

第114回会工同窓会総会(令和3年10月16日開催予定)および本部役員会につきましては新型コロナウイルス感染症の蔓延により9月の時点で中止の決定をいたしました。10月初旬より新型コロナウイルス蔓延も小康状態となりましたので役員会だけでも開催することとし、10月20日に執り行いました。総会は中止、書面決裁とし、本部役員会で決定した総会提出議題および承認可否ハガキを令和3年10月28日に本部役員、支部代表者65名に送付し44名の皆様に返送していただきました。これにより集計結果を報告いたします。

・議題

(1) 令和3年度事業報告	賛成44	反対0	承認
(2) 令和3年度会計決算報告会計監査報告	賛成44	反対0	承認
(3) 令和4年度事業計画(案)	賛成44	反対0	承認
(4) 令和4年度予算(案)	賛成44	反対0	承認
(5) 同窓会規約の一部改正(案)	賛成43	反対1	承認
(6) 学校創立120周年記念事業負担金について	賛成43	反対1	承認
(7) 令和4年度、令和5年度役員改選(案)	賛成43	反対1	承認

全議題可決承認されました。ありがとうございました。

※新型コロナウイルス感染症の更なる収束を祈念すると共に、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

議題

(1) 令和3年度事業報告(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

会員相互の親睦を図り、母校と会発展のため以下の事業を実施した。

月 日	事 業	場 所
10月 6日(火)	会計監査	鶴翔会館
10月16日(金)	第3回役員会	鶴翔会館
11月 1日(日)	2020會工同窓会報発行	
2月26日(金)	同窓会入会式 表彰式	学校南体育館
3月 1日(月)	会工卒業式	学校南体育館
4月 8日(木)	会工入学式	学校南体育館
4月13日(火)	学校創立記念講話	学校南体育館
7月10日(土)	セウ友会総会	ホテルいづみや
9月24日(金)	校歌碑、校章除幕式	学校正面玄関前

*会津美里会工会、若松会工会、猪苗代会工会、郡山会工会、東京会工会、東海会工会、近畿会工会、坂下会工会、いわき会工会、福島会工会、会工電友会、建友会、機友会の総会は中止となりました。

*表記の他 会報編集委員会5回、三役会議7回開催

同窓会規約の一部改正について

第10条 総会 協議する。を 協議し、議決する。に改正する。

〈現行〉

第 10 条 総 会

本会に次の役員を置く。

本会は毎年1回総会を開催し、会務を報告し、本会の運営に関する基本事項について協議する。

ただし、必要に応じて会長は臨時総会を開催することができる。

〈改正〉

第 10 条 総 会

本会は毎年1回総会を開催し、会務を報告し、本会の運営に関する基本事項について協議し、

決議する。

ただし、必要に応じて会長は臨時総会を開催することができる。

第11条 役員会を三役会議および役員会に改正する。(三役会議を会議体に位置付ける)

〈現行〉

第 11 条 役 員 会

役員会は必要に応じて会長が招集し、会の運営にあたる。

〈改正〉

第 11 条 三役会議および役員会

三役会議および役員会は必要に応じて会長が招集し、会の運営にあたる。

付 則 制 定	明治40年 3月27日
一部改正	平成 9年11月15日
一部改正	平成10年10月13日
一部改正	平成17年10月15日
一部改正	平成21年10月17日
一部改正	平成27年10月17日
一部改正	令和 2年10月17日
一部改正	令和 3年10月16日

第7条 本部役員 2. 副会長 3名を若干名にする。(組織強化のため)

〈現行〉

第 7 条 本部役員

本会に次の役員を置く。

1. 会 長	1 名	2. 副 会 長	3 名	3. 幹 事 長	1 名
4. 副幹事長	若干名	5. 幹 事	若干名	6. 監 事	3 名
7. 会 計	2 名				

〈改正〉

第 7 条 本部役員

本会に次の役員を置く。

1. 会 長	1 名	2. 副 会 長	若干名	3. 幹 事 長	1 名
4. 副幹事長	若干名	5. 幹 事	若干名	6. 監 事	3 名
7. 会 計	2 名				

第9条 役員の任務に第2項を加える。(三役の範囲を明記する。)

〈現行〉

第 9 条 役員の任務

会長は本会を代表し、会務を統括する。

副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は、その職務を代行する。

幹事長は幹事の代表、副幹事長は幹事長を補佐または代行する。

幹事は重要事項並びに緊急を要する事項を審議する。

監事は会計を監査する。

会計はこの会の会計をつかさどる。

〈改正〉

第 9 条 役員の任務

1 会長は本会を代表し、会務を統括する。

副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は、その職務を代行する。

幹事長は幹事の代表、副幹事長は幹事長を補佐または代行する。

幹事は重要事項並びに緊急を要する事項を審議する。

監事は会計を監査する。

会計はこの会の会計をつかさどる。

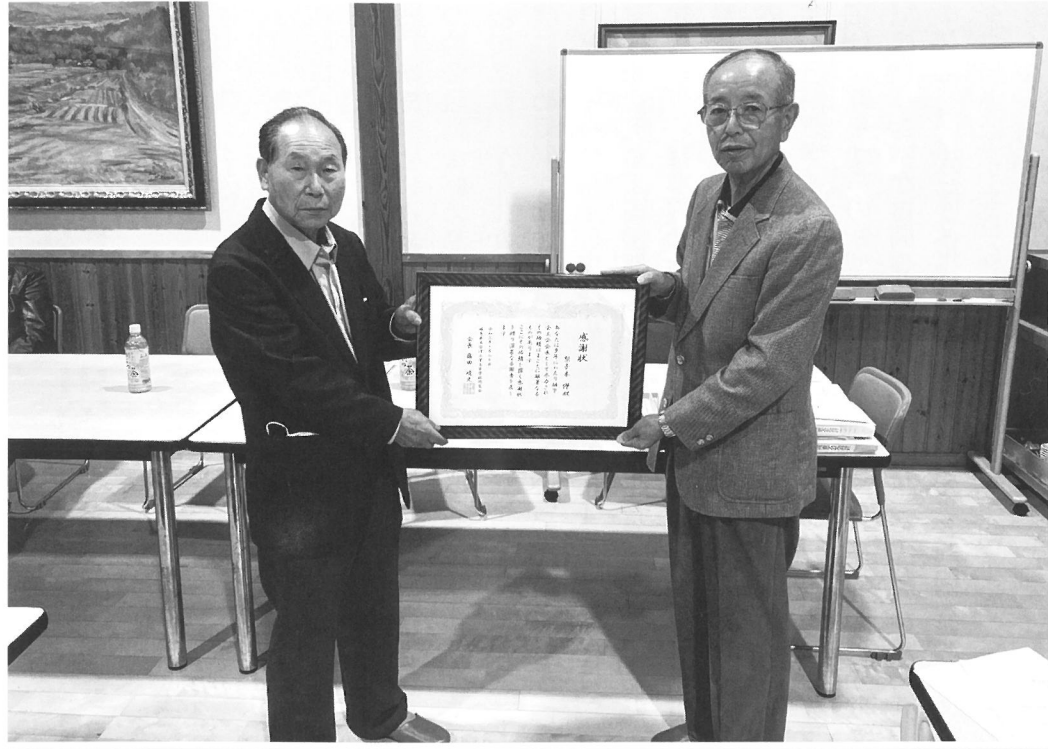
2 会長、副会長、幹事長および副幹事長を三役とする。

感謝状贈呈

今年度退任された2名の方に感謝状が贈呈されました。

前坂下会工委会長 梨子本 傑 様

前セラ友会会長 二 瓶 正 人 様



前坂下会工委会長 梨子本傑様へ感謝状贈呈

同窓会本部役員会



学校創立120周年記念事業負担金について

120周年記念実行委員会にて具体的事業を検討中であるが予算的に極めて厳しく事業決定に至っていない。

同窓会としては同窓生からの寄付も含め負担限度額を300万円とする。

(創立110周年には200万円負担)

令和4年度、令和5年度役員

	新 役 員		
顧問	若 狭 春 生 (S38K)	本部選出	留 任
顧問	藤 田 晴 史 (S40E)	本部選出	新 任
会 長	浅 田 誠 (S43E)	本部選出	新 任
筆頭副会長	荒 井 誠 一 (S49A)	本部選出	新 任
副 会 長	荒 川 富士雄 (S43M)	本部選出	新 任
副 会 長	田 中 健 一 (S42E)	東京会工委会長	留 任
副 会 長	栗 城 和 夫 (S41M)	機友会会長	再 任
幹 事 長	木 村 洋 一 (S50K)	本部選出	留 任
副幹事長	佐 藤 義 之 (S42M)	本部選出	留 任
副幹事長	石 田 功 (S43G)	本部選出	新 任
副幹事長	白 井 達 夫 (S43E)	本部選出	新 任
副幹事長	菊 地 壽 雄 (S48D)	本部選出	留 任
副幹事長	渡 部 哲 (S52M)	本部選出	留 任

松江春次顕彰会会長

若 狭 春 生 (S38K) 留 任

令和4年度・5年度 監事

二 瓶 正 人 (S37K) 新任
小 山 源 昭 (S38A) 留任
鹿 目 忠 明 (S40E) 新任



会工の現状

校長 高梨 哲夫

同窓会会員の皆様には、日頃より母校の教育活動に御協力と御支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。また、2月26日の同窓会入会式では、229名の新たな同窓生を温かくお迎えいただき、ありがとうございます。令和3年度は、新入生200名を迎え全校生徒669名（男子547名・女子122名）、全教職員90名の合計759名で教育活動が始まりました。校長として着任3年目を迎え、改めて本校が地域の方から大変期待されている学校であり、卒業生から多大な支援を受けていると益々実感しております。今後も、社会に貢献できる生徒の育成に努めていきたいと考えております。

昨年度末に電気科と情報技術科が募集停止となり、今年4月から新たに「電気情報科」が新設されました。入学式終了後に開科式を実施し、第1期生40名を迎えました。電気情報科の1年次は、共通履修で第二種電気工事士やロボット制御などの基本的な内容を学習します。2年次からは、電気エネルギーコースと情報テクノロジーコースに分かれて学習します。電気エネルギーコースは、従来の電験三種の認定校を継続し、発送配電や電気設備に関する知識・技術を学習します。情報テクノロジーコースは、ICTやIoTを活用した情報通信技術に関する知識・技術を学習します。

今年度の学校行事は、昨年からの新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しない中、新しい生活様式を遵守しながら徐々にはありますが再開しました。卒業式・入学式をはじめ強歩大会、企業説明会、中学生一日体験入学、インターンシップ、公開文化祭、修学旅行、遠足と制限を設けてですが実施することができました。4月13日の創立記念講話では、「SDGs持続可能な世界を創るために、会工生に期待すること」と題して、各界で活躍されている方から講話をいただき、生徒の更なる成長の基盤をつくるきっかけになったと思います。講師には、昭和55年3月卒業の同級生でもある、磐梯町長佐藤淳一氏（C）、株式会社ISホールディングス代表取締役社長遠藤昭二氏（M）、株式会社アークス会津代表取締役征屋和久氏（K）、本校校長高梨哲夫

（M）がMCを務めました。当初は、福島県議員渡部優生氏（M）も参加する予定でしたが、残念ながら議会で参加することができませんでした。また、部活動も再開され、ボクシング部と水泳部が全国大会出場を果たすことができました。

本校は、来年120年を迎えます。今年、同窓会・PTA・生徒会・教職員からの代表で制服検討委員会を立ち上げ、120年の節目の年でもある来年4月の入学生から一新してまいります。特に女子制服は、昭和42年4月に女子生徒が入学して初めての変更となり、デザイナーと生徒会が数回にわたり打ち合わせを行い、制服を完成させました。

今年は同窓生やお世話になっている企業から、様々な形でご寄付いただきました。

- ・会津土建株式会社様 建築インテリア科に古くて修理も難しかったレベルを2台ご寄付いただきました。
- ・鈴木建設株式会社様（高知県・S45A卒） 建築インテリア科に右利き用のドラフターしがなく左利きの生徒が困っていたところ、左利き用のドラフターを5台ご寄付いただきました。
- ・株式会社会津電気工事様 電気情報科に故障して古くて修理不可能だった計測機器を15台ご寄付いただきました。

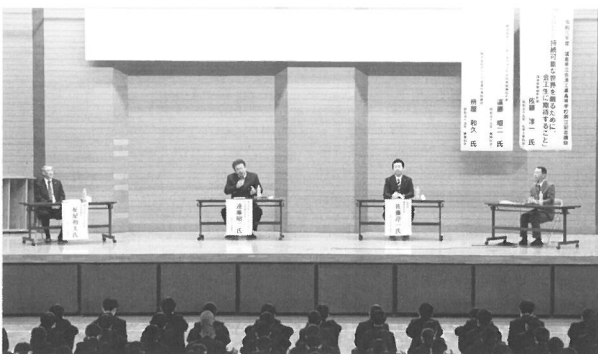
・八ッ橋設備株式会社様 音楽室にエアコンを設置していただき、併せて図書館に生徒が希望する書籍をご寄付いただきました。

・遠藤昭二様 校歌碑・校章と温水洗浄便座22台をご寄付いただきました。

今までの校歌碑は3番までが彫り込んでありましたが、「會工百年史」（P. 51）に記載されている原典の校歌を4番まで刻みました。校章は、2年前に新調していただいた校旗のデザインを、忠実に再現いたしました。9月24日に本校ロータリー前で同窓会とPTAの役員の方をはじめ、本校職員・生徒会に出席していただき除幕式を行い、完成を祝いました。また、温水洗浄便座は県内の県立高校では初めて生徒のトイレに設置されました。

様々なご寄付、誠にありがとうございます。生徒、教職員、保護者を代表して御礼申し上げますとともに、大切に使用してまいります。

最後になりますが、本校の学校運営ビジョンに掲げている「社会に貢献できる人材の育成」をスローガンに、教職員一丸となって取り組んでまいりますので、同窓会の皆様の御支援に感謝を申し上げ、今後さらなる御協力をお願い申し上げます。



創立記念講話（4月13日）



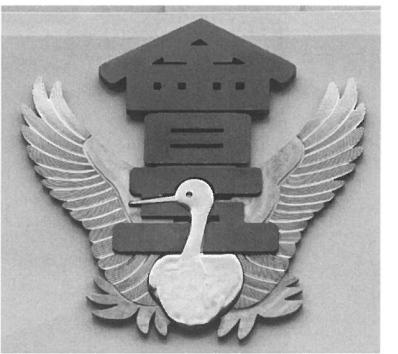
校歌碑除幕式（9月24日）



新しい制服



校歌碑と校章



令和4年(2022年) 福島県立会津工業高等学校 創立120周年

ホームページも御覧ください
URL : <https://aizu-th.fcs.ed.jp/ceremony120>



- ・福島県立会津工業高等学校 記念行事
令和4年(2022年)10月15日(土) 10:00~
○120周年記念式典 本校南体育館
○記念講話
○記念祝賀会
- ・記念出版
○創立120周年記念誌『会工賛歌』
- ・その他の記念事業 各種検討
※会津工業高校同窓会 同窓会総会を同日開催



創立120周年記念実行委員会

◎今後、記念事業の内容によっては、寄付金のお願いが発生する場合があります。その折りには、何卒よろしくご支援をお願い申し上げます。

〈お知らせください〉 総務部より

- 100歳以上の同窓生(1922年(大正11年)以前生れ)
- 4世代卒業生(在校生を含む)のご家族
教えてください

〈ご依頼〉 出版部より

同窓生および各方面の方々へ
記念誌へ掲載の寄稿文のご依頼に快くお引き受けくださいますようお願い申し上げます。

実行委員長挨拶

謹啓 寒冷且つコロナウイルス禍の候、皆様方におかれましては、益々清栄の事と拝察し、心よりお慶びを申し上げます。
常日頃から本会発展のため、母校の教育活動の充実に向けてご尽力を頂戴しております事に衷心より厚く御礼申し上げます。
さて本校の創立百二十周年記念事業も令和四年十月十五日(土)に開催されることが決定され、その事業の内容について協議検討を進めている所です。
この様な中、同窓会の前会長である藤田晴史さんが、病氣療養中のため辞任され、私が会長職を仰せつかる事になりました。

私は、藤田さんとはクラス担任が、故堀金先生で同じでしたし、勤めた会社も、その後の役職も、ほぼ同じ道を歩ませていただき、藤田さんの考えは十分理解しているつもりですので、その主旨の実現に向けて、本校創立百二十周年記念事業が、学校、PTA及び同窓会が、三位一体となって盛大且つ成功裏に開催できるよう最大限の尽力決意をしている所であり、今後共物心両面にわたるご支援ご協力、並びにご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

結びに、今後共引き続き会員皆様方のコロナウイルス禍への予防対応に加え、インフルエンザ等の感染にも充分ご留意され、益々ご健勝で活躍されますよう、心よりご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。 敬白

創立百二十周年記念事業 実行委員長

浅田 誠(昭43E卒)

支部会

東京會工会

コロナ禍での同窓会活動

会長 田中 健一(昭42E卒)

見えないウイルスに人類が滅ぼされる！
大げさかも知れませんが、今年の7、8月の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ると、その様に思う方もおられたのではないのでしょうか。
2019年末に中国で確認され、その後世界中に拡散。日本



でも2020年1月に初感染者が確認されました。日毎に感染者や死者も増加し、緊急事態宣言も何度か発令されていますが、なかなか効果が現れません。
当初は1年位で終息、秋には一部活動が出来るものと楽観視し、準備を進めてきました。しかし、感染状況や活動参加者の健康を考えると、中止せざるを得ないと判断。結局2年連続の活動中止となりました。

東京會工会登録会員は10年前には500人弱だったのが、現在は252人と半減してしまいました。平均年齢も79歳と高齢化しています。卒業年代別に見ると、昭和29年以前が11%、昭和30年代49%、昭和40年代37%、昭和50年代以降は3%となっています。このままでは地域同窓会は崩壊してしまいます。地域同窓会が案内を発送するよりどころは、同窓会名簿です。しかし、地元会津を離れた平成卒の方々の名簿が不十分のため、案内発送が出来ないのが現実なのです。2022年は同窓会名簿発行の年です。同窓会本部と各クラス同窓会連絡員の協力を得て、充実した名簿作成をお願い出来ればと思っています。勿論

私達会員も協力します。
今年はコロナ禍で、行事案内や会員登録のお願い等出来ませんでした。が、来年度は案内発送が出来ることが祈っています。
地域同窓会の連絡先は、會工ホームページの同窓会で確認出来ます。皆さんからの連絡をお待ちしております。

東海会工会

会長 三井 正春(昭41A卒)

私がコロナウイルスのワクチン接種2回目が進んだのは7月31日でした。
皆様はいかがでしたでしょうか？
昨年の総会と今年6月の東海會工会総会も中止して、昨年同様に書面決議でした。

コロナ感染者は愛知県内も5万8400人と東京、大阪、神奈川、埼玉、千葉県に続いて多く全国で6番目という現状です。
愛知県刈谷市における地域活動の盆踊り大会、花火大会、秋祭り等の行事もこの2年間、中止されています。この刈谷市に在住して55年になりますが、

こんなことは初めての経験です。地区の役員等を経験しておりますが、いろいろと忙しく過ぎております。郷に入れば郷に従えということわざ通りですね。
さて、地方出身の別の会を紹介いたします。愛知・岐阜・三重県に在住している、会津地方出身の方々による「東海会津会」という会があります。

発足して今年で22年になります。現在の会員数は32名で構成され、メイン行事が「芋煮会」です。毎年10月に愛知県宮名古屋大高緑地公園で開催され、参加者は60余名で家族ぐるみで出席し、中でも餅つき大会は孫たちの楽しみのひとつです。
会員の中で餅つきの道具一式を持っている人がおり、協力してもらっています。

みんなで食材を作りみんなで飲んで食べることが、楽しいひと時ですね！私はこの会の副会長兼事務局長を任されています。東海會工会の皆さんも是非芋煮会に参加して下さい。

昨年からの東海會工会の行事は、ゴルフ大会を令和2年11月と、令和3年5月に開催しただけです。同じ母校を持った人々の集まりの会です。先輩後輩の

わけ隔てなく話し合い、各行事の交流を通じて、楽しい会になつて欲しいと、切に思いながら会長としての責務を務めていきたいと思っています。
東海會工会の発展に期待あれ！

若松会工会

『雑感』(社会生活での常識を再認識しよう！)

会長 浅田 誠(昭43E卒)

最近コロナウイルス禍による規制の影響だけではなく、憤りが募る日々が多く、本当にこれらの事がこれ迄の社会生活上で常識であったのかと疑問視する思いの今日の頃です。

具体的には、道路上に喫食の残骸と思われる廃棄物が捨てられていたり、車のマフラーを改造したと思われる騒音を鳴り響かせている輩、車を運転して譲った行為に何らの意思表示もせず走り去る輩、車のドアを開けて道路に唾を吐く輩を目にするのは今や老若男女を問わず、日常茶飯事遭遇する状況です。

一方では、新聞・マスコミ報道等からも、自分の子供を虐待する親、車内に子供を放置して、

鶴雲飛翔

質実剛健

自分は空調の効く遊技場で遊び呆ける親、子供の行動を放任して雑談や用事を優先して子供を危険な状態に至らしめてしまったり、更にはベットとして飼い、今迄癒してもらった恩もむげにして無造作に処分したりと、枚挙にいとまがない程の報道に憤っている。

この様な者達が、今後増加したならば、これからの日本は一体どうなってしまうのかと危惧され、本当に心痛む思いである。加えて、会社生活においても、先入である後輩であっても先輩同様に自ら率先して挨拶すべきであろうし、直接業務に関係ない、ゴミ搬出やトイレ掃除等も、それを実践している人の行動に見習って、少しでも手伝おうとする心構えと協力心を持ちたいと考えている。自分さえ良ければ、楽が出来れば、見ても見ない振りをして過ごせばいいという気持ち、考えは持ちあわせないようにと心に留め、職務を全うしたいと考えているところである。相手が自分にとって嫌

な事であれば、自分はそれを反面教師として、これからの自分の行動指針として考え、行動していきたいと、思いを強くしている昨今です。

坂下会工会

会長 渡部 正司
(昭47D卒)

●定期総会開催2021

令和3年9月3日開催予定の第43回の定期総会2021は、

開催に向けて準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染状況並びに感染拡大防止

対策を鑑み、開催を中止することを8月初めに三役会にて決定・了承されました。よって8月28日に総会にかわる役員会を開催し、昨年度の事業の会計報告、今年度の事業等を確認了承されました。また、今年度は役員改選の年度となっており、新役員体制も了承されました。

本会は昨年まで42回開催されてきましたが、中止となったのは昨年と今年度の2回でした。第1回の同窓生が会し、懇親を深める大切な場であったので誠に残念です。

●会津工高入学生に記念品贈呈

6月10日、今春に坂下中から同校へ入学した生徒15人に記念品として名入りのボールペン・「坂下會工会」入りの手作りコロナ予防マスクと記念会報を贈った。会設立43年の記念事業の一環。

●会津工高入学生に記念品贈呈

6月10日、今春に坂下中から同校へ入学した生徒15人に記念品として名入りのボールペン・「坂下會工会」入りの手作りコロナ予防マスクと記念会報を贈った。会設立43年の記念事業の一環。



総会にかわる役員会(令和3年8月28日出) 11時～)

会長より一人ひとりに手渡した。生徒を代表して吉田健太君が謝辞を述べた。学校より高梨哲夫校長・大塚一学年主任・中丸同窓会事務局長立会いのものと、渡部正司副会長、生江光男副会長、飯塚裕事務局長が同席した。

●研修会
研修会は2回開催

このコロナ禍で総会も開けず、活動もできずにいたので原稿を書けずにいましたが、再度の依頼があったのでペンを執りました。

来年は創立120周年です。沿革によれば校歌に「明治三十七春なかば」であるように、明治37年(1904)2月に校舎が竣工し、3月29日に染織科・漆工科・窯業科の生徒を募集、4月15日に県立福島工業学

●猪苗代会工会
創立120周年を迎える
長い歴史と誇り

このコロナ禍で総会も開けず、活動もできずにいたので原稿を書けずにいましたが、再度の依頼があったのでペンを執りました。

10月6日の新聞に「会津工高に校章、校歌碑」とありました。本校を卒業されたISホールディングス社長の遠藤昭二さんが校章と校歌碑、温水洗浄機付き便座約20台寄贈されたとのことでした。遠藤昭二さんは猪苗代町出身なので感無量でした。

14

REPORT & MESSAGE

会津美里会工会 新型コロナと支部活動

栗木 俊昭
(昭45D卒)

新型コロナが発生し既に2年近くの歳月が経過しようとしています。昨年オリンピックを1年延期し、今年無理をして新型コロナ禍の中で開催、様々な痕跡を残しました。

会津美里支部も定期総会を開催することができませんでした。唯一実施した事業は、毎年実施している本支部管内からの新入生に対する激励顕彰で、校長先生立ち会いの下、新入生に記念品を贈呈しました。本当に無念の極みで、本来の活動に戻れるよう早く新型コロナの終焉を祈らずにはいられません。

さて、来年は本校創立120周年ということで記念事業の立案・準備に携わっている関係者に敬意を表します。

私達の時代は、『T・L・K・C・G・M・F・E・D・A・W』の各科にデザイン科があり、全校生徒数は1500人を超えていました。しかし少子化、更に社会構造の変化により科の統合・名称変更等により縮小したことは致しかたがないことと思います。県内高校の一部では、

統廃合により名称が変わったりしておりますが、我が「会津工業高等学校」の名称が変わっていないことを誇りに思います。来年の会津工業高等学校創立120周年を元気に迎えられるよう健康に留意しましょう。

いわき会工会 今こそ人の努めを

会長 佐野 容昭
(昭32E卒)

私も年を感じる今日この頃ですが、今年は、コロナ騒動で社会不安がある一方、責任感の欠けらもなく、コロナにかかってからあわてる若者が多く、また昔の道徳観などもなく、自分一人の力で生きているような若い人が多く、これからは大変である。道徳心がうすく、何が正しいか、いかにあるべきかという点があいまいになってきているように思われる昨今です。

精神面の豊かさと言うものが人としてのバランスと、その豊かさのもとに人間らしい幸せな生活を送ることが出来るのではないかと年とともに感じていま

建友会

会長 白井 武男
(昭45A卒)

同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか、日頃より建友会に御礼申し上げます。

新型コロナウィルスの感染拡大が全国的に広がり、大変残念な事でありましたが、感染拡大防止の為、通常総会・懇親会を昨年に引き続き今年も中止致しました。この2年間のブランク

解消に役員のみなさんと努めております。今年の卒業生第73回生の方々には往復はがきで連絡先や近況報告を頂き、来賓・恩師・賛助会員の皆様には今後の更なるご支援をお願い致している所です。本会員の皆様にも益々のご協力・ご支援をお願い致します。

また、十分なコロナ対策を取り、会員の親睦・交流を図る為

す。
今こそ昔の会津だましの必要な世の中になってきたように感じる昨今です。

行つて来ました無尽会に於いても、新型コロナウィルス感染症の第5波の広がりが始まってからは、中止を余儀なくされ、東日本震災の年にも休会される事が無く、60年間以上も延々と継続して来た『建友会無尽会』もコロナには敗れ無く中止に追い込まれ、此処数ヶ月は休会おります。

しかし、第五波も沈静化に向い始めた9月からはアフターコロナからウィズコロナに切り替えて活動しております。無尽会はコロナワクチンの接種が済んだ人達で11月8日から再会したいと思っています。是非ご参加を。

更に、休会してありました『建友会ゴルフ部会』も建友会継続発展との名目で有志とゴルフコンペも開催しました、第一回S24年卒の竹島大先輩(今年満92歳)が参加してくださり、一緒に組でラウンドさせていただきました。我々と同じレギュラーツイからのプレイで、驚きの連続でした、会津磐梯CCの15番ショート15mもあろう谷底に打ち込んだボールをティーグラウンドから歩いて直接降り、グリーンに登って来る大先輩の



健脚ぶりにはさらに驚かされました。来年には多くの皆様とプレイできれば幸いです。

会工電友会 年賀状

会長 鹿目 忠明
(昭43E卒)

驚くばかりの暑い夏が終わわり、肌寒さを感じる頃になると雪の季節が思い出されて来る。

その中の一つに年賀状がある。「プリントごっこ」で手を汚しながら床一面にハガキを広げて印刷したことが思い出される。今では宛名も裏面もパソコンで

至誠勤労

初志貫徹

出来てしまう。今年こそやめようと思いがちも続いている。続けながらもこの人へはもう出さなくて良い、この人だけは出そうなんて整理しているつもりだ。こんなことをしていると「一体年賀状って何なんだろう」と考えてしまう。「年に一度の安否確認だよ。」と自分に言い聞かせている。

もう何十年も会っていないが年賀状だけは続いている友が多い。かつては親しくお付き合いさせていた人達だ。だから、そんな人からの年賀状を見ると、特に添え書きを見ると懐かしい文字があり「あゝ元気で頑張っているんだ」と何故か心がホッとする。

40年も前の友から手紙が来た。懐かしさからかやりとりが始まった。そのうちに心臓病を抱え入退院を繰り返していることが判ってきた。遠く離れた友を見舞うことは簡単ではない。負けるなという励ましを便りに託すしかないと思い、起き上がり小法師と赤べこを贈った。今はそんなことしかできない。

人への気遣いは難しい。どんなに心配しても病氣や怪我が治るわけではない。そんな具体的な助けはとも出来ない。せめて心配している人間がここにいるんだよと伝えたい。それで何

かが変わるわけではないが、少しでもホッとしてもらえればと思う。

アケオメ、コトヨロでもやらないよりやった方が良いと思う。きずな、絆というけれど遠く離れた所でも私の安否を気に留めてくれる人が居ると云うことではないかと思う。

今年も型通りになってしまいうさだが、年賀状を出そう。添え書きを忘れずに。

機友会

会長 栗城 和夫
(昭41M卒)

機友会入会式

本校同窓会入会式に引き続き、令和3年2月26日に機友会の入会式が行われました。機械科卒業生1組・2組74名が入会いたしました。

荒川副会長の開会の挨拶に続き栗城会長より入会歓迎の言葉があり、入会記念品の贈呈が行われました。

1組の秋山大智君・猪俣心斗君、2組の井関航大君・小檜山魁君にそれぞれ幹事委嘱状を手



定時総会中止

令和3年5月15日、機友会役員会を開催いたしました。

会津若松市においては、連日新型コロナウイルスの感染者が

多数出ている中、三密に気をつけながら本年の定時総会・懇親会等について話し合いを行いました。毎年7月第1土曜日に開催しており、又本年は役員改選であります。話し合いの結果、

本県全体に非常事態宣言が発令されている中、開催は難しいとの結論となりました。さらに役員は全員1年間暫定留任させて頂くことで決議し、令和3年度「機友会定時総会・懇親会」の中止のお知らせ文章を会員へ送付いたしました。

一日も早く平常時の生活に戻れることを祈願し、皆様方が健康でありますことを御祈念申し上げます。

セラ友会

会長 梨子本 傑
(昭41K卒)

定期総会開催

今年度の定期総会は7月10日(土)、ホテル「いづみや」にて開催いたしました。今回の総会は新型コロナウイルス感染状況並びに感染拡大防止等を鑑み、地元

の役員を中心に総会・講演会のみで、30名以内に絞り28名で開催しました。

議事では役員改選のほか、今年一年の事業の確認や本部同窓会・母校への支援・協力、各修



養会との交流、春のミニ研修会さらには今年度卒業生に対する入会式等の事業確認です。来年は母校設立120周年の記念の年であるので会員によるOB美術展(會津稽古堂・一階市民ギャラリー)や記念講演会・動画放映を開催する事も確認しました。

講演会は58年窯業科卒業の箭内和広氏による、杜氏として生きる「日本酒と私」の演題で講演をしていただきました。

会報2021(第18号)発行

令和3年6月に発行。部数300部。会長をはじめ昨年度の活動内容、会員の寄稿。また、

REPORT & MESSAGE

同校セラミック化学科の活動などを掲載。

今まで発行した会報編集作業に於いては、箭内健男氏(昭58K卒)、梨子本傑(昭41K卒)が担当し、併せて広告も掲載しております。

研修会

○秋のミニ研修会「美里観光協会主催による美里地区内三十三観音堂巡り」

令和2年10月18日、秋のミニ研修会を開いた。今回の研修は会津美里地区内の14ヶ所を巡るバスツアーに同行しての研修会でした。地元・会津にいてもなかなか「会津三十三観音」を巡る機会がなかったため、今回の研修を通して有意義な一日を過ごし親睦を深めることができました。

入会式

入会式は令和3年2月26日に母校のセラミック化学科の教室にて行いました。同科は窯業科からセラミック科への名称変更を経て14年前から現在の科名になった。セラミック化学科として12回目の卒業生となった。

本部同窓会入会式終了後役員4名で実施。役員は二瓶会長ほか宗像副会長、梨子本幹事長、箭内事務局長の立ち会いで卒業生38名が入会した。会長が歓迎のあいさつを述べ、新入会員代

表の菊地終人君に会長賞、代表挨拶はHR長・遠藤航君。全員に記念品を贈った。

昭和電工

東長原支部

支部長 大塚裕一郎
(平3C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

会工同窓会東長原支部は、昭和電工(株)東長原事業所の敷地内に立地する企業で働く、会津工業高校卒業生で組織されており、会員数は昨年より1名増加し84名(令和3年7月現在)在籍しています。

今年も令和3年の卒業生を新たに2名会員として迎えることができました。

活動は会員相互の親睦を図るため、毎年春に総会、秋に芋煮会を開催しています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大リスク回避および会員の健康を考慮し、春の総会、秋

の芋煮会とも中止する判断をいたしました。(今春の総会も中止)

新型コロナウイルスの感染拡大が問題視され1年以上経過しますが、多くの地域で感染拡大に歯止めが掛からない状況で、先行きが見通せない状況となっております。

様々な活動が制限されている状況下ではありますが、必ずや現状を打破できる日がくると信じております。

各支部の会員の皆様に於かれまして、必要な感染予防を取りつつご活躍されることと存じます。

以上

三菱製鋼(株)広田製作所会工

会長 珊瑚 優治
(昭59C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

この会は、三菱製鋼広田製作所で働く会津工業高校の卒業生

にて構成されています。

通年であれば、花見、暑気払い、忘年会、総会その他に旅行を行い、親睦を深める活動を行っていますが、昨年度から今年度一杯は活動を自粛しているのが現状です。

今年度も4月に、会津工業より1名の新入社員を迎えることが出来、会員一同喜んでおります。

今後、定年延長で残っておられる先輩方が来年度で退職される予定であります、送別会が出来るかギリギリの処であります。

早く通常の世の中になる事を、切に願います。

皆様方も、頑張つて乗り切りましょう。

OB会

会工元気会
令和3年度 第24回
会工元気会2021

庶務・旧職員 梨子本 傑
(昭41K卒)



設立20周年時の記念総会

一意専心

クラス会

熊の子会

金作 等

創立120周年にあたり、記念事業実行委員会の皆様にはコロナ禍の中、また業務ご多忙中、記念事業推進に邁進され、心から感謝申し上げます。

扱、私共31Eクラスメイトも卒業以来66年になりますが、長期間にわたり熊の子会が継続され親睦を深めてきましたが、その概略をご紹介させていただきます。

そもそも、「熊の子会」とは??



●熊の会開催年表

開催年月	開催場所	参加人員	特記事項
1988・6	東京都新宿	20名	
1988・11	栃木県鬼怒川温泉	25名	大沢先生出席
1997・1	会津東山温泉	20名	還暦の集い、神主のおお祓いを、保志和吉先生出席
2003・1	沖縄県、那覇市・他	25名	
2004・4	京都・奈良	21名	修学旅行思い出の地を
2005・9	会津東山温泉	22名	
2006・9	宮城県、仙台・松島	24名	
2007・9	神奈川県、横浜市	24名	
2008・9	山梨県、甲府市・北杜市	23名	
2009・10	岡山県、岡山市・倉敷市	23名	
2010・10	埼玉県、川崎市・秩父市	22名	
2011・10	福島県、会津湯野上温泉	22名	東日本大震災で開催地・沖縄県を変更し地元で開催、僅かに貢献
2012・10	沖縄県、那覇市・他	23名	2回目、那覇市で大きく事業をされている古川喜美男氏(猪苗代町出身、同級生)に大変お世話になりました
2013・10	東京都、都内観光	28名	
2014・10	茨城県	19名	今回の幹事、渡部正義氏からアルバム作成中止の指示
2015・10	会津東山温泉	15名	
2016・	岡山県、参加者少数の為中止		
2017・10	会津東山温泉	11名	高齢化で参加者も年々減少、61年間続いた熊の子会を今回で会を解散 希望者の集まりとして「31E 白虎会」として発足する事になりました 暫定対応で、幹事を会津地区(佐野常雄氏、鈴木安太郎氏)、北関東地区(渡部正義氏、他)、東京地区(湯田幸八氏、金作 等)
2019・11	東京都、都内観光	12名	TOKYO2020オリンピックを来年に控え施設などの見学、感激でした

威風堂々

私共のクラスは昭和31年50名で卒業しました。その時に作ったクラス会の名称です。何故、「熊の子」というと、我々の恩師に対しての思いからでした。最後の担任でありました大沢信義先生の渾名が我々の中では親密感で「クマ」先生でした。何となく我々には親熊のように感じられ、その子供だから「熊の子会」と命名されました。

大沢先生は泰然自若とし、優しく時には厳しく記憶に残る魅力的な先生でした。会の開催も皆が人生経験豊富な年代(1988年)の頃か

らは参加者も多くなり、しっかりと開催の詳細を決めねばと、会員の在住県を在住者が幹事になり各県持ち回り制で1泊から2泊で開催することに決め開催して参りました。次に正式に開催された内容を年表に列記。

寄稿

会工の懐古

佐藤 璋三
(昭20K卒)

今から80年程前に、私は会津工業学校に入学致しました。古い思い出となりましたが、当時の事を鮮明に覚えております。先ずは、入学出来た事が嬉しかった。夢が叶えられました。しかしながら時あたかも戦時中でした。

昭和16年には太平洋戦争突入。卒業まで戦事学徒。「一億火の玉だ」「死ぬも生きるも国の為。」学業と奉仕。軍事教練の毎日でした。3、4年生の頃には、多くの学徒が予科練や陸軍の航空

REPORT & MESSAGE

隊に志願し窯業科からも4名の同級生が入隊して行きました。その後戦争は激しさを増し、19年6月には学徒動員の令により私達窯業科5年生と3年生、他に染色科と共に常磐湯本の櫛品川白煉瓦に動員されました。物資の不足や、食糧難の苦労がありました。研究室勤務の時は地元の女子学生と一緒に働き、食料をいただいた事も楽しかった思い出の一つです。動員中の貴重な青春時代の思い出のひとつであります。



実業学校は当時12月卒業となっていました。翌年3月迄延期され学徒動員として働きました。20年3月28日には学校に戻り卒業式となりました。感無量でした。

私は4月8日にかねて就職先である(株)東芝大井川工場に着任いたしました。当工場は光学ガラスの製造工場で陸軍中佐が常駐していました。戦時中はガラスの溶融の現場を担当しました。戦後は耐火物の研究の方へ異動となり楽しかった職場だった事を覚えています。

会津工業の先輩方が東芝で立派な功績を残してくださったお陰で私は優遇されました。その後の私の歴史は語り尽くせませんが今後機会があれば、思っております。会津で培った魂は未だに変わってはおられません。お陰様で数年前には藍綬褒章を受章することができました。これも会津工業のお陰だと思っております。

最後になりましたが、窯業科吉田一榮様をはじめ物故者皆様のご冥福をお祈り致します。

「坂下會工会」設立43周年時に会長職を辞して

梨子本 傑
(昭41K卒)

坂下會工会はお陰様をもちまして本年設立43周年を迎えました。昭和54年2月、地元有志が集まり準備会を開く。学校からは小滝彦一先生が参加。名称「坂下會工会」、規約、名簿の作成をした。54年8月に東京在住の地元広瀬出身の佐藤勝次氏(元・東京會工会7代会長)のご指導を得て総会を開催以来40周年となります。当支部は支部組織の中では東京會工会に次いで二番目に伝統ある組織で、母校の発展を願う懇親の場として継続、今日に至っております。この長い年月、平成29年4月に亡くなられた元・本部同窓会会長・吉田一榮氏にご指導になって大変お世話になって継続されたと思っております。

さて、私と坂下會工会との関わりについてのべてみたいと思います。母校の窯業科を41年3月に卒業、地元会津本郷町(現・会津美里町)の碍子関係の会社に就職し6年間お世話に

なり、その後母校の同科に36年間教員生活を過ごさせていただきました。この間企業で習得した窯業技術は私にとってかけがえのないものです。

教員生活の中で、本部同窓会にかかわるようになったのは母校創立80周年の時、実行委員長が窯業科の大先輩である元同窓会会長の吉田一榮氏であったことがキッカケです。吉田一榮会長の母校に対する思い・その心に打たれたのです。その後90周年、100周年と26年間本部同窓会にかかわりをもつこととなり、現在は坂下會工会・セラ友会会長としての二本立てで役目を果たさせていただいております。そして、坂下會工会に本気でかかわったのは4代目大堀順一会長の時で庶務・事務局を担当した時からです。

特に印象に残っている活動は平成12年から5年間、坂下町主催マラソン大会に駒大陸上部監督大八木弘明氏を招いて町を盛り上げた事です。またその歓迎会では地元・駒大卒業生や他校の同窓会会津坂下支部の協力と一緒に会を運営し町を盛り上げた事です。さらに、毎年開催される定期総会のあり方や会費徴

収の明確化、事業活動の見直しなど若い世代が積極的に参加してもらえような会にしたいと常々思っておりましたがなかなか思うようにいかなかったのが心残りです。渡部正司新会長に託したいと思います。

8月末に6代目会長の退任の報告とさせていただきます。



大八木弘明監督、佐藤敦之選手歓迎会



奮えや 会工の健男子

五十嵐 哲夫
(昭26 A卒)

私はもう少しで、90歳を迎えようとしています。今は余生を元気にと、仲間とのゴルフ、又家内と健康ドライブ、旅行等、脳の活性も考えて楽しんでおります。私は昭和26卒ですから卒



日立会工会総会時の模様

後約70年になります。就職は、茨城県日立市の日立社でありました。日立では約50年、製品品質保証業務と製品納入後の試運転、運転指導、海外納入品運転工事と試運転、運転指導、稼働後点検サービス等充実した技術者としての生活を過ごすことが出来ました。その間、留守を守ってくれた家族には感謝しています。中でも海外プラントの建設と試運転、運転指導は長期にわたり、万一のトラブル防止等緊張の毎日でした。そんな業務に追われている内に70歳となり、後進に引継ぎました。今では鉄鋼一貫の製鉄プラント又大発展を続けた大型化学工場の主要プラント等、当時を思いなつかしんでおります。技術者として又OBとして当時を誇り、良き先人の厳しい指導に感謝しています。又当時は「行け、行け」の時代でした。錯綜する業務、スピードに遅れないため「人の和、信頼が大切」と繰返し指導された先人に感謝の日々でした。現地の作業が終末になり、次々と営業運転に入りますと、建設工事担当各位、各会社では顧客が主体となって、工事反省を加味した御苦労様会が盛大に開催されま

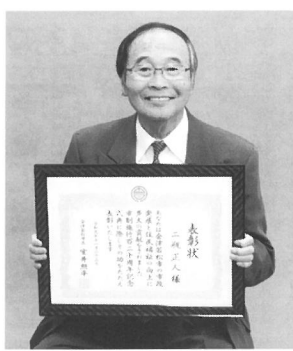
乾坤秀麗

すが、私は必ず「故郷の会津を誇り、会工を誇り」、締めは必ず「応援歌 用意！頑張り頑張り！奮えや会工の健男子」を演じ拍手喝采を頂きました。この頑張り応援歌は、会工人の魂だと思つて、世界で活躍しているOBの各位にお贈りしたく、紙面を汚しました。

真剣に向き合う 感染予防

セラ友会顧問 二瓶 正人
(昭37 K卒)

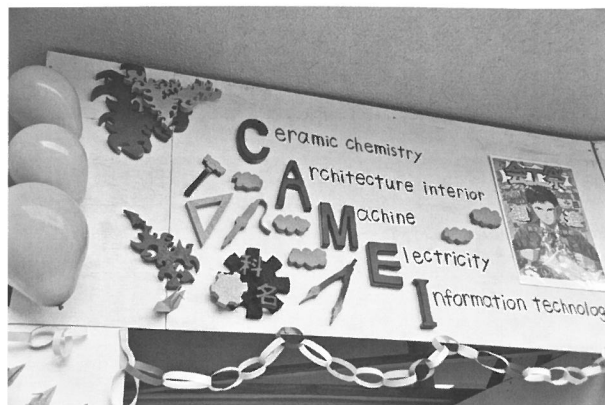
新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛が要請され、特に高齢者は自宅で過ごす時間が増えました。私のライフワークは



酷寒気は除く)
(2)テレビ体操 会津若松市民体操と高齢者向けの筋肉マッサーJとクールダウン
(3)週1〜2回のラジボール(卓球(健康増進、生涯スポーツの一種)
(4)自宅に幼馴染み(小、中学生時代)を招き面談する
(5)心を許し腹を割って話せる尊敬する先輩への訪問と面談
〆はストレス発散や解消になります。感染予防を万全に期しながら体力に合った運動を施すことが大切です。新型コロナウイルス感染を過度に恐れて虚弱体質にならない心技体を作り、認知機能防止に努めています。
同窓会活動、山川健次郎顕彰会と並行し、私はスポーツ推進員として、本年は史上初の延期された東京五輪2020年大会の頂点を目指すアスリートの活躍やその競技の観戦を心待ちしながら、スポーツを「する」「見る」「支える」が生み出す身体活動の喜びやフェアプレー精神の涵養、感動を共有し「絆」を深めることなどスポーツの価値が十分に発揮されることに寄与できるよう、スポーツ界を盛り

上げていく所存です。
私はスポーツの持つ力により、現在の停滞感を一掃し、未来を見通し、過去からの叡智がこの状況を打破する時が必ず来ると確信しています。それまでスポーツが私たちにとって身近な存在であり続けるよう、スポーツを愛する皆様の最後のお手伝いと奉仕するスポーツ推進員を全うする覚悟です。このスピリットが折しも我が母校福島県立会津工業高等学校創立120周年の年次協賛金、同窓会皆様方の相互親睦、母校賛助、後輩育成支援等の熱意実現に繋いでいく決意表明とします。結びに皆様方におかれましては、ご自身の健康には十分に留意されると共に、家族や友人同窓生と穏やかに過ごされることを祈念いたします。

「終りのない明日はない、
頑張り 会工健児」
エールを贈る
フレイフレイ会工



2021 会工祭



建築インテリア科



セラミック化学科



機械科



電気情報科

今年度受賞・活躍された先輩

セラミック展で最優秀

会津工高卒 菊地 柊人さん 18

セラミック展で最優秀

上品な陶器在学時制作

菊地さんは高校から陶芸を始めた。昨年は同校セラミック化学部で部長を務め、会津本郷焼の職人から指導を受けた。同年八月に陶芸技能検定の上級実技を受けた。ろくろで成形した作品を今回の作品展に出展した。作品は、形を崩さないよう、うにバランスを調整しながら、下部をスリムな形状に仕上げた。高さ約二十センチ、幅約十五センチ。後輩が調合した釉薬を使い、黒っぽい上品な表面に焼き上げた。三月下旬にオンラインで出品・審査し、六月四日付で発表された。菊地さんは四月に市内の製造企業に入社し、現在は長野県の工場で顕微鏡レンズに関する研修に励んでいる。「妥協しないものづくりの姿勢を社会人生活に生かしたい」と目を輝かせる。作品展は日本セラミック協会の主催で、全国の工業高校などから陶器やガラスの作品十八点が寄せられた。三月下旬の同協会年会で、参加者による投票で決めた。会津工高生が最優秀賞に輝いたのは二〇一三年以来二度目。



最優秀賞を受けた会津工高OBの菊地さん

令和3年8月18日付 福島民報社
菊地柊人(令3C卒)

黄綬褒章

磨いた蒔絵の技術輝く

★黄綬褒章

決意を新たに。石川県の加賀蒔絵師の下で二年間修業した。その後、さらに父親の下で技術を磨き、卓抜した技術で数々の賞に輝いた。県伝統工芸士会長などの要職を歴任し、二〇二〇(令和二)



蒔絵の技を磨いた曾根さん

年には「現代の名工」に選ばれた。蒔絵の積み重ねの結果として、丁寧受章の喜びをかみしめ、きれいな仕事に努めている。

令和3年11月2日付 福島民報社
曾根英昭(昭44G卒)

今年度受賞・活躍された先輩

功労者知事表彰

【建設産業功労者】
白井 武男さん 69
会津若松市
一九九二年(平成四)以来、二十年余り、県建築士事務所協会副会長などとして、会員の指導育成と関係団体の発展に努め、建設産業の振興に寄与した。

令和3年5月3日付 福島民報社
白井武男(昭45A卒)

第62回県農業賞 -復興・創生特別賞-



加工品手掛け
コメ減収補う
◆武田芳仁さん・久美子さん(会津若松市)

復興・創生特別賞

河東町金田字塩庭(コメを中心に生産している。耕作放棄地を借り受け、経営面積を就農時の約十倍に広げた。原発事故の風評による減収分を補おうと、二〇一六(平成二八)年からコメの加工品を手掛けている。武田さん夫妻の話、家族で安定した農業経営を継続させたい。

令和3年8月29日付 福島民報社
武田芳仁(昭47M卒)

利道(若松)を全国初認定 優良事業主の新評価制度

岩瀬局長から認定通知書を受けた真鍋利光社長(中央)。左は真鍋千加子専務



厚労省「障害者雇用促進「もにす制度」

利通(若松)に認定書交付
厚生労働省が障害者雇用の促進に努める中小事業主を認定する「もにす認定制度」に全国で初めて選ばれた。電気機械器具製造業の利通(会津若松市)への認定通知書交付式は十日、福島市民会館で行われた。福島労働局の岩瀬信也局長が真鍋利光社長に認定通知書を手渡した。真鍋社長は「従業員の協力や理解のおかげで認定を受けられた。今後も障害者が働きやすい環境をつくる」と話した。真鍋千加子専務が同席した。もにす認定制度は障害者雇用促進法に基づき、今年四月に創設された。利通は障害者雇用率が13.4%で、民間企業の法定雇用率2.2%を大きく上回っている。職業生活相談員を配置し、障害者が働きやすい環境づくりに努め、専用のカウンセラーを招いて社内研修を実施している点が評価された。

令和2年11月11日付 福島民報社
真鍋利光(昭43E卒)

新たな歴史の始まり

教頭 小田切 史也

同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご協力とご支援を賜り誠に感謝申し上げます。私は今年度赴任してまいりましたが、以前、平成18年4月から24年3月まで本校で勤務し、平成27年4月から30年3月まで会津第二高校で勤務していたため、特に大きな戸惑いもなく現在職務をこなしています。

本校に勤務していた時の平成23年3月に東日本大震災が発生し、その時は機械科の科務室にいました。その当時、機械科科務室があった建物は耐震工事が終わっておらず、すぐに外に避難をしたことを覚えております。それから10年が経ち、この間に松江春秋記念館が校門の脇に設置され、会工の歴史を生徒自身の目で確認することができたり、また、機械科の実習棟の改築をはじめ、多くの施設設備が更新されたりして充実しており、生徒の学びの環境等が整えられていると思います。

さて、今年度から電気科と情報技術科の募集が停止となり、電気情報科が新設されました。したがって、今年度入学生は機械科2クラス、建築インテリア科・セラミック化学科・電気情報科各1クラスの合計5クラス体制となりました。電気情報科では、新たな取り組みとして、2年次より発電・送電・配電・電気工事関係等を学習する電気エネルギーコースと、電子部品・電子回路・プログラミング等を学ぶ情報テクノロジーコースの2コース制をとります。今年度本校は119年目を迎えますが、ここから新たな歴史が始まり、新たな歴史を築いていくこととなります。そして、令和4年度には創立120周年を迎えます。歴史と伝統を引き継ぐべく、生徒たちは各種大会等で会工の名を轟かせています。全国工業高等学校長協会の「ジュニアマイスター顕彰」では、昨年度、機械科に在籍していた卒業生が、全国の五本の指に入る全国工業高等学校長協会の理事長賞を受賞しました。また、日本セラミック協会が主催する「2021年々高校生セラミック作品展」では、セラミック化学科に在籍していた卒業生の作品「油滴の銀河」が最優秀賞に輝きました。部活動では、ボクシング部と水泳部の生徒たちが厳しい予選を勝ち抜き、全国高校体育大会に出場し活躍しました。残念ながら思うような結果が出なかった部の生徒たちは、チームワークの大切さ、仲間を思いやる心、弛まぬ努力で上位を目指す強い気持ちを厳しい練習の中で養い、技術の向上だけでなく心の成長も着実にしています。

最後に、生徒及び私たち教職員は、会津工業高校の歴史と伝統を継承しつつ、新たな輝かしい足跡を残していきたいと思っています。そのため、同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力、そして時には叱咤激励のほど、よろしくお願いいたします。

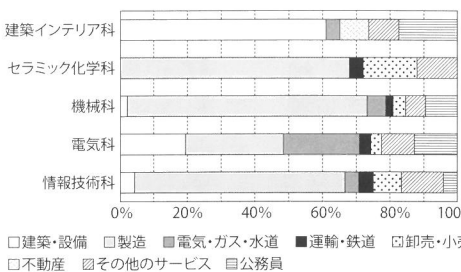
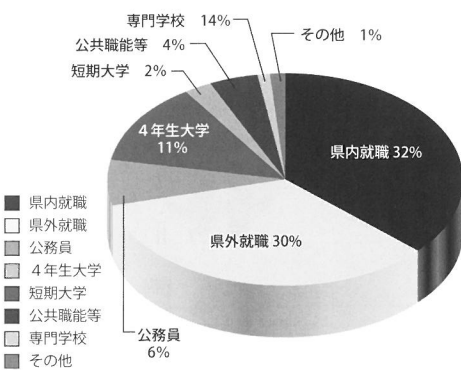
進路指導部から

主任 大原 満

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援をいただき誠にありがとうございます。昨年度の進路状況について報告したいと思います。

就職者の合計は、157名であった。このうち民間就職内定者は、138名で卒業生徒の60％程度となり、昨年度よりは民間就職者の割合が減少となった。今年度の求人数も1000件を超えている。コロナ禍でも製造、建設、電気関係などの産業での求人は変わらず、コロナ禍の影響でサービス業関係の求人は減少していた。ただし、本校生の就職希望者は、ほとんどが製造、建設、電気関係の就職を希望するので、あまり影響を受けずに済んだ。さらに近年は以前よりも早く県内企業の求人

グラフ1 令和2年度 卒業生進路状況(全体)



グラフ2 令和2年度 卒業生進路状況(科別)

票が提出される傾向にある。令和2年度の受験で、約90％の生徒は、第1希望の企業に内定したが、その割合は、昨年度よりも減少した。これは、企業数は変わらなくても1社あたりの求人数が例年よりも減り、人気のある企業は競争率が高くなったためである。また面接試験では、コミュニケーション能力を重視し、より能力の高い人材が求められていた。

公務員については、4月当初は18名ほどの希望者がいた。その後、実際に合格を頂けたのは14名という結果となった。不合格の生徒全員が、公務員の専門学校に進学するようである。

公務員については、14名合格し、人気の高い職種は昨年度も警察、消防、自衛隊という傾向でした。それ以外に専門の技術職を受験し、7名が採用になった。

進学者の割合は、71名でした。進学者全体の割合は昨年よりやや増加した。今年度の状況としては、当初コロナウイルスの影響が心配されましたが、就職・進学ともに昨年同様に進まれた状況です。具体的には、就職については8月末現在で県内企業273社程度・県外企業838社程度を合計1100社以上の企業より求人を頂いております。昨年度より若干減少しましたが、進学についても8月末現在で大学74校・短大21校の合計95校より、専門学校については108校より指定校を頂いております。

今年度はコロナ禍の中、オンラインにより入社試験を実施する企業も出てきておりますが、大半の他の企業においては例年通りとなりました。3年生は8月になりまして希望進路実現に向け、毎日意欲的に取り組み活動しております。また、1・2年生には、日々の学習に力を入れ、様々な問題乗り越え、会工生としての誇りと自覚を持つて社会に貢献できる人材へと成長することを願っております。

最後になりましたが、今年度も生徒全員の希望進路実現に向けて全教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っております。同窓生の皆様も変わらぬご支援・ご協力の程、よろしく願いたします。

令和3年度新入生

1学年主任 大塚 正幸

全国の会工同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。また、本校の教育活動に日頃よりご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、去る4月8日に、高校生としての新しい生活に期待と希望に満ち溢れた建築インテリア科、セラミック化学科、機械科、電気情報科の4科5クラス200名が、高梨哲夫校長先生より令和3年度新入生として入学を許可されました。その後、新入生の代表が「将来の夢をかなえるために毎日を悔いのないように過ごし、精一杯高校生を送ること」を誓いました。

それから5カ月を経て2学期が始まり、入学当初はきこちなくて中学生のような生徒達でしたが、ずいぶんと高校生らしく、会工生らしくなってきたようです。各自とも勉強や部活動、資格取得などに向けて、それぞれの目標を持ち日々取り組んでいるようです。中には自分の目標が決まらずに、どうすればよいか迷っている生徒もいるようですが、近いうちに自分の進む方向を見つけてくれるものと思います。また、各クラスもそれぞれの学科の特性を持ちながら個性を見せているようです。

今年度もコロナ禍の影響で、様々な行事ができない状況となっております。このような状況で不安なことも多々あるかと思いますが、時流に流されることなく、本質を



見抜く目と判断力をつけ、この厳しい時代を生きて抜く力を身に付けてもらいたいと考えております。そして、2年後には自分の希望進路を実現し、晴れやかな気持ちで本校を卒業していきけるように学年と学校全体が一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

会工の新たな歴史をつくる学年として

2学年主任 菅家 慶広

同窓生の皆様には常日頃から大変お世話になっております。早いものでこの原稿を書いている時点で、コロナ禍の真つ只中に入学してきた生徒たちはすでに高校生活の折り返し地点に達しようとしています。そろそろ自分の将来に向けて具体的なイメージを持つて、進路実現のための準備に取りからなければならぬ時期です。・がまだスイッチが入っている生徒は少ないようです。

私は4月の学年集会の際、「2年生という学年は、本校生の代表であり、先輩たちの築いてきた素晴らしい歴史や伝統・文化を引き継ぎ、後輩に伝える使命があります。ただ好ましくない風習・慣例は勇気を持って断ち切る努力をしてください。」とまあ何とも大袈裟ですがこんなことを話した記憶があります。

私も本校OBですが、例えばその当時は部活動の先輩後輩の極端な上下関係に疑問を持っていたが今はあまり感じません。また今の生徒のように廊下で会っても先生に挨拶する生徒などはほとんどいなくなったような気がします。教員として30歳を過ぎて母校に戻ってきた時、会工は新しい時代に入ってきたんだとつくづく感じました。

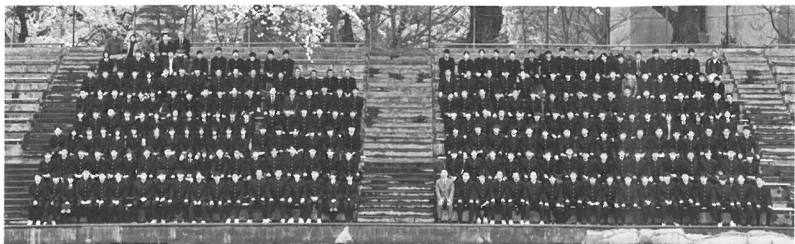
さて、この学年は来年の本校創立120周年のとき、すなわち会工の歴史の大きなマイルストーンとなる年度に3年生となります。「これが会工生の120年後の姿です！」と同窓生の皆さんに自信をもってアピールして欲しいのです。髪型、普段の服装、体格、言葉遣い、好きな音楽、スポーツ、趣味、トレンド：などと書きましたが、これは上から目線の大人の論理であって、別に生徒たちには120周年についてはちよとだけ意識してもらって、今まで通り普通に勉強・部活動・各種行事に精一杯頑張ってもらえれば何もいうことはありません。同窓生の皆様方の今後のご指導・ご支援、重ねてお願いいたします。

今までに経験をしたことがない……

同窓会の皆様には日頃より大変お世話になっております。平成31年4月に入学した生徒も令和4年3月1日には卒業を迎えることとなりました。新入生240名でスタートしましたが、現在は230名となりました。このまま230名が進路実現を果たし、同窓生の仲間入りができればと思っています。

昨年度はコロナ感染防止から、修学旅行の中止や、進路選択に重要な役割を果たしてきたインターシップの中止と前例の無い、今までに経験をしたことがない1年でした。気象関係の災害関係の報道で最近多く聞かれる、今までに経験をしたことがない雨、まさしく、そんな去年と今年です。

今年度は卒業に向けての進路選択・決定の年となりますが、6人の担任の中で、本校で卒業生を出した経験のあるのは私



3学年主任 長谷沼 徹

一人で、試行錯誤を続けながらのスタートとなりました。生徒にとっても就職？どんな会社があつてどんな仕事内容なのか分からない状態でした。3月には三者面談を実施しましたが、漠然とした内容でした。3学年集会で進路についての話をしても実感が無い日々が続きました。そんな中、進路指導部の先生の尽力により、7月7日（水）にビジネスマナー講習会が開催され、少しずつではありますが進路決定への意識が出てきました。また、7月14日（水）に昨年は実施できなかった校内企業説明会が県内企業43社、県外企業35社に参加していただき、北体育館と南体育館で実施することができ、生徒の意識も大きく変わりました。進路指導部の先生方にご迷惑をかけながら、県内42社77名、県外49社61名が、9月16日以降の就職試験に臨みます。

2020年東京オリンピックが7月23日（金）から8月8日（日）に開催され、金27個、銀14個、銅17個のメダルを獲得しました。また、2020年東京パラリンピックが8月24日（火）から9月5日（日）に開催され、金13個、銀15個、銅23個のメダルを獲得しました。今までに経験をしたことがないことが多かった学年ですが、10月に開催予定の学校祭は、是非実施できることを願っております。

同窓生の皆様方には今後とも、ご指導・ご支援をよろしく願いたします。

松江賞

建築インテリア科

三星 諒真



セラミック化学科

星 翔太



機械科一組

渡部 凜



同窓会賞

建築インテリア科

芳賀 将大



セラミック化学科

遠藤 航



機械科一組

笠間 隆之介



機械科二組

渡部 央都



電気科

酒井 広雅



情報技術科

若菜 広弥



令和2年度卒（令和3年2月28日授賞式にて）



会津工業高校ホームページのご案内

～パソコン・スマートフォンからご覧になれます～

本校ホームページでは、学科紹介の他、生徒の学校生活・部活動の様子も紹介しています。また同窓会ページでは、同窓会からの連絡・過去の同窓会報の掲載・各支部（地域や企業、各科の同窓会）での活動の紹介をしています。

本校HPアドレス <https://aizu-th.fcs.ed.jp/home>
連絡用メールアドレス ob.aizu-th@momo.fcs.ed.jp

同窓会ページはこちらからご覧になれます



福島県立会津工業高等学校

受け継がれてゆくものづくり魂 歴史を継いで

〒965-0802 福島県会津若

松市街之町1-37

TEL:0242-27-7456 FAX:0242-29-9239



↑パソコン版

↑スマートフォン版

〈お願い〉

同級会や部活動、OB会など開催された際には会報掲載用の紀行文・写真を連絡用メールアドレスにお送りいただけると幸いです。

平和の覇者を育みぬ。

校歌から

学び舎 ロケーション 1 専門課程は、いま。



建築インテリア科

主任 佐藤 聖
同窓生の皆様方、特に建友会の諸先輩方には日頃より大変お世話になっており改めて感謝申し上げます。今年度も本科の生徒は勉強に資格取得、部活動、生徒会活動に明るく積極的に取り組んでおります。今年度の建築インテリア科の関係職員は以下の通りです。よろしく願いいたします。

【建築インテリア科】

佐藤 聖（主任）
長谷沼 徹 菅家 慶広
渡辺 学 高橋 弘光
飯塚 誠 矢部晃太郎
【クラス担任】
◆1学年
担任 本多 裕美（数学科）
副担任 佐藤 聖
◆2学年

担任 菅家 慶広
副担任 宗像 美里（数学科）
◆3学年
担任 長谷沼 徹
副担任 栗城 和枝（芸術科）

さて昨年度の進路状況ですが、就職と進学の場合は6・4で就職者の約3割は地元企業へ就職をしました。進学者の内訳は4年生大学への進学が約6割を占め、残りの4割は専門学校や短期大学への進学となりました。就職・進学共に建築の分野へ進む生徒は全体の65%程度となり、前年より15%も増えました。

昨年度の生徒たちの活躍を紹介します。まず3学年の課題研究コンペでは女子3名で取り組んだ大阪芸術大学グループ主催の「高校生アートコンペティション2020」で、建築部門で見事「最優秀賞」を果たしました。

また全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度では、



ゴールドが5名、シルバーが2名と例年になく多数の受賞者を輩出しました。
資格試験では難関の2級建築施工管理技術者試験（学科試験）で11名の合格、国家技能検定3級（建築大工）では5名の合格を果たしました。

今年度も、コロナの影響で昨年に引き続き建友会総会が中止になり、大先輩や卒業生には会うことができませんでしたが、



セラミック化学科

主任 石崎 晃
同窓会の方々、特にセラ友会の皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。本年度は男子21名、女子19名の合計40名を新たにに加え、総勢116名が本学の学習をはじめ資格取得・部活動に、明るく元気に励んでいるところです。また、文部科学省の指定研究「目指せスベチャリスト」で、平成19年に研究成果を生徒発表した太刀川君を教職員として迎えることができました。未だコ

ロナ禍のため、校外活動は少なくなりましたが、職員紹介をはじめ、生徒の活動内容をご報告したいと思っています。

【セラミック化学科の職員】

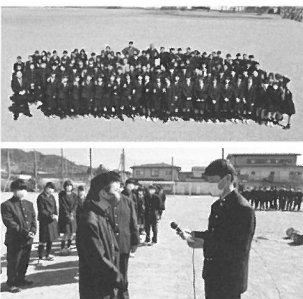
石崎 晃（主任）
大塚 正幸（1学年主任）
熊谷 好広（2学年担任）
大濱 達明（OB）
石井 洋子
太刀川 光（新任、OB）

【クラス担任】

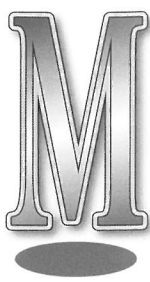
◆1学年
担任 大塚 正幸
副担任 土田 幸良（社会科）
◆2学年
担任 熊谷 好広
副担任 武山 小百合（社会科）
◆3学年
担任 大木 孝之（理科）
副担任 石崎 晃

【主な出来事】

◆日本セラミックス協会主催21年会・高校生徒作品展において、菊地柊人（本年度の卒業生）の作品「油滴の銀河」が最優秀賞に輝きました。8年ぶり2回目の快挙。



◆学科対面式を実施。例年は鶴ヶ城東側で行われていたため校外活動が制約されていたため本校サッカーグラウンドで行いました。晴天のもと、各クラスの自己紹介の後、先輩方のパフォ



機械科

一マンスで楽しく交流できました。その他、本校の工業クラブ会長に永山さくらさんが選ばれるなど、数多くの生徒が本校の中心として活躍しています。しかしながら、例年参加していた会津美術展・ふれあい茶会・会津本郷せと市が開催されず、本校の活動が外部に発信できないのが残念です。今後、会工祭等が行われる予定ですが、HPなど活用し、生徒たちの元氣な活動内容を外部に発信していきたいと思っています。これからも、同窓会の方々のご理解とご協力の程、宜しくお願いいたします。

科長 永峯 宏彦
今年度の人事異動では、10年間勤務された高橋浩二先生が、郡山北工業高校に転出されました。後任として藤田康平先生が常勤講師として着任されました。また、今年度も再任用教諭として茂木利幸先生ご尽力いただいております。そのため、今年の機械科のスタッフは、13名でのスタートとなりました。各学年の担任の先生は、1M

1は片寄片寄悦広先生・1M2は荒木田優哉先生、2M1は岩橋学先生・2M2は加藤善範先生、3M1は古川高清先生・3M2は馬場正先生先生の6名でクラス経営にあたっております。

機械科では、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図りながら、ものづくりの「面白さ」「楽しさ」「魅力」を伝え、社会で通用する人材の育成に向けて職員一丸とな

って取り組んでおります。しかし、昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症対策を講じながらの教育活動ではありますが、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、生徒ひとり一人が輝けるよう努力していきたくと思っています。

〈今年度の機械科行事〉

- ・9月以降は予定となります
- ・4月：新入生対面式
- ・7月：機械製図検定
- ・8月：ガス溶接技能講習会
- ・9月：基礎製図検定
- ・11月：ふいご祭
- ・12月：技能検定（普通旋盤）後期試験
- ・1月：機械科課題研究発表会
- ・2月：同窓会機友会入会式

1は片寄片寄悦広先生・1M2は荒木田優哉先生、2M1は岩橋学先生・2M2は加藤善範先生、3M1は古川高清先生・3M2は馬場正先生先生の6名でクラス経営にあたっております。

機械科では、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図りながら、ものづくりの「面白さ」「楽しさ」「魅力」を伝え、社会で通用する人材の育成に向けて職員一丸とな

って取り組んでおります。しかし、昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症対策を講じながらの教育活動ではありますが、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、生徒ひとり一人が輝けるよう努力していきたくと思っています。

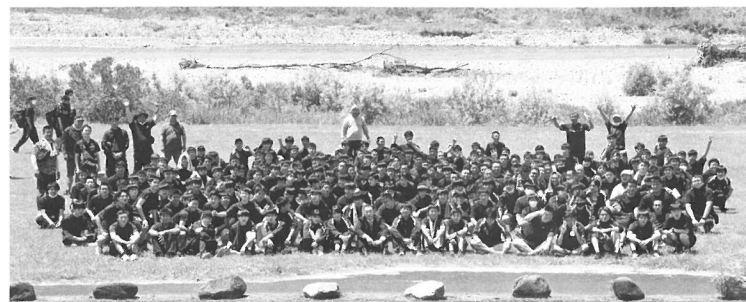
〈各種大会への参加と活躍について〉

※各種大会のほとんどが中止となりました。

〈各種資格取得について〉

○機械製図検定（58名取得、基礎製図検定（58名取得）、危険物取扱者、技能検定（前期3級1名合格）などの各専門分野の資格取得に向けて生徒達も日々努力しております。近年、合格率が低下しているのが現状ですが、生資格取得のために課外授業や講習会を実施し、合格率の向上に努めてまいりたいと思います。

〈全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰〉※昨年度○ジュニアマイスター特別表彰1名（3M1真部優輔）

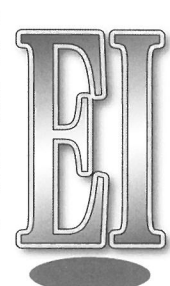


○ジュニアマイスターゴールド2名（3M1真部優輔）（3M1佐藤太恵）

○ジュニアマイスターシルバー2名

○ジュニアマイスターブロンズ7名

最後になりましたが、OBの皆様には、今後とも本校機械科へのご支援やご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、毎年、同窓会機友会から機械研修部に対して激励金のご支援いただいていることに對して厚く御礼申し上げます。



電気情報科

主任 志田 博隆
本校電気情報科は、昭和20年4月に設立された電気科（前電気通信科）、平成元年4月に設立された情報技術科を募集停止し、今年度新設されました。昨今のコロナ禍の影響による働き方の見直し、AI・IT化の目覚ましい進展により情報技術者の需要が一層高まっております。また、人間が生活する上で「空気」「水」の次に「電気」が必要と比喻されるほど、電力産業は生活に浸透しています。電気情報科では、この両者の技術を学び、これからの時代をリードする産業人の育成を目標に掲げ、日々の学習活動に励んでおります。

電気情報科では、昨年度までの電気科・情報技術科の職員に加え、今年度の人事異動で6名の先生方をお迎えし、総勢12名で運営にあたっております。なお、電気情報科1年の担任は菊池研吾先生が務めます。

さて、電気情報科の今年度の取組み（予定）についてご紹介いたします。

1学期：開科式、電気科・情報技術科・電気情報科対面式、



第二種電気工事士試験受験（32名/38名合格）、ライントレース大会等
2学期：東北電力（株）施設見学、地元企業見学ツアー、計算技術検定受験等
3学期：3科合同レクリエーション、情報技術検定受験等
電気科・情報技術科・電気情報科の活動については、学校HPに掲載していく予定です。同窓生の皆様にも目をかけていただければ幸いです。

未筆ではございますが、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

奮るえや会工の健男児 応援歌から

学び舎 ロケーション② 2021会工、鍛えの各部

山岳部

顧問 菅家 慶 広
遠藤 悠



令和3年度、部員3年生12名、2年生3名、1年生3名でスタートしました。長年にわたって顧問を務めていただいた川井勉先生が3月に定年退職されました。本当にお疲れ様でした。
さて山岳部の活動も新年度からは通常に近い形で活動ができるかと期待していたのですが、会津地方にも新型コロナウイルスの感染が広まり、5月はじめに予定され

サッカー部

顧問 江本 城 幸
加藤 善 範
太刀川 光
岩 橋 学

現在サッカー部は、選手38名（1年生16名、2年生9名、3年生13名）、マネージャー4名で活動しています。
チームの目標であった新人戦とインターハイの県大会出場は出来ませんでした。また全国高校サッカー選手権大会福島県大会では、昨年度のベスト16を超えたいと思い頑張りましたが、1回戦敗退となり大変悔しい思いをしました。しかし、福島県



サッカーF3リーグ戦で【全勝優勝】を成し遂げることが出来ました。この結果、令和3年12月に行われるF2リーグ戦参入戦に挑むことになりました。
先輩方が築き上げた成績で会津工業高校サッカー部は、F1リーグ戦で【準優勝】やF2リーグ戦で【優勝】を収めてきました。しかし、不運にも私たち3年生が1年生の時に残念ながらF3リーグに降格しました。
F1・F2リーグ戦は県リーグ戦で毎週他地区の強豪校と公式戦を行います。F3リーグ戦

バドミントン部

顧問 栗田 克 志
馬場 正 丈
安部 有 香子
矢部 晃太郎

バドミントン部は、67回を数える福島県高校体育大会の男子団体戦で優勝を25回もしている実績があります。近年、国際大会でも活躍しているふたば未来



学園（富岡高を含む）が14回、帝京安積が11回です。で群を抜いた成績を先輩方は残しています。私たち25名の部員は、先輩方の偉業に少しでも近づけるように日々努力しています。現在は、矢部先生がプログラムした全部員強化プロジェクトによりハードな練習内容になっていますが、指導陣の求めるところに

バレーボール部

顧問 福島 広 己
永倉 良 正
佐々木 夏 海

今年度、バレーボール部は男子部24名（内マネージャー2名）、女子部11名（内マネージャー1名）の総勢35名で活動しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されてしまつ時期もありましたが、県内外への遠征や練習試合などで他校のバレーボール部と切磋琢磨し、大会に向けて日々練習をしています。また、顧問の先生方をはじめ、多くのOB・OGの方々が指導・ご助言を

達するよう懸命に取り組んでいます。今年度の福島県高校体育大会男子団体戦では、第3位となり東北大会の出場権を得ました。しかし、コロナ禍により東北大会が中止になり残念でした。今後は、各種大会での上位進出を目指すと共に、人間性や社会性を育み全体的に感謝の気持ちを忘れず目標達成をしていきたいです。

ソフトテニス部

顧問 土田 幸 良
志田 博 隆
本多 裕 美



いただき、大変お世話になっております。ありがとうございます。これまで支えてくださった方々に今後もご指導いただけるよう感謝の気持ちを忘れず、練習に取り組んでいきたいと思

硬式テニス部

顧問 鈴木 大 樹
宗像 美 里

硬式テニス部は、2年生5名、1年生7名の12名でインターハイ出場を目標として日々の練習に励んでいます。学校にテニスコートがないため、毎日の部活動は会津総合運動公園テニスコートや門田緑地テニスコートで取り組んでいます。
また、昨年度は県大会でベスト8に入賞した実績もあります。



バスケットボール部

顧問 阿部 哲 也
渡辺 学

私たちバスケットボール部は、選手22名（3年生6名、2年生6名、1年生10名）と女子マネージャー4名の計26名で会津地区大会優勝を目標にして日々練習に励んでいます。普段の練習ではどんなチームを相手にしても当たり負けしない体作りとディフェンス強化するためのディフェンス練習を中心に取り組んでいます。先日行われたインターハイ福島県大会ではベスト8に入った田村高校を相手にあきらめることなく最後まで食らいついていきましが、1回戦敗退という悔しい結果となってしまいました。しかし試合を通して3年生が強豪校に向かっていった姿勢は、私たち先輩から見ても頼もしく、尊敬できる姿でした。そんな先輩から託されたバスケットボール部の伝統を受け継いでいきたいと思

現在新チームとなり、ウィインターカップのために引退せず



にチームに残った先輩の力を借りつつ、体力向上や走力の強化に努め、厳しい練習に耐えて頑張っています。新型コロナウイルスの影響で他校との練習試合ができない苦しい状況の中、ライバルチームに絶対負けなために会津地区で一番いい練習することを目指して日々練習に取り組んでいます。地区大会で優勝するためにはチームが団結することやチーム全員が何事にも全力で取り組むことが大切です。また練習中や試合中に声を出すことによって良い雰囲気になり、コミュニケーションを取ることにも繋がります。部員全員で声を出し続け勝利に貢献したいと強く思います。

野球部

顧問 齋藤 辰 也
大越 徹 也
岩田 康 平
藤田 雅 啓

「常楽野球・常勝軍団」
現在野球部は、選手41名（1年生7名、2年生16名、3年生18名、マネージャー5名）で活動して

甲子園大会出場、そして全国の卒業生の皆様と共に勝利後の校歌斉唱を目標に、雪上を駆け巡り練習に励んできました。
感染症の影響を受け、大会を辞退しなければならぬ学校がある中、「今できることにベストを尽くし、後悔をしない日々を過ごす」と、チームで心を合わせ大会に臨みました。
春の支部大会優勝、県大会ベスト8と結果を残せました。夏の大会では敗れたものの、



今年度は新たに1年生男子14名、2年生男子1名の部員が加わり、総勢38名の太所帯となりました。普段の部活動は校外の会津若松市営のテニスコートで練習しています。自転車での施設移動もトレーニングの一環として行っています。
今年は1年生が多く加入したこともあり、3年生を中心に後輩部員の面倒をよく見てくれています。昨年と同様にコロナ禍の状況のなかでの部活動となり、感染予防をしながら活動しています。
高校体育大会福島県大会では上位入賞を果たすことができま

最終回2アウトから4点を奪い逆転するなど、力を出し切ることができました。

野球を通して、信じることを生かすこと、仲間の大切さを学びました。これまで支えてくださった家族、仲間、卒業生や地域の皆様への感謝の思いを大切に、今後も何事にも元気に活動してまいります。



剣道部

顧問 古川 高 清
益 子 茂

OB会の皆様には島影会長を中心に物資面でご支援いただき心から御礼申し上げます。令和



をより一層盛り上げて欲しいと思います。今後とも会工剣道部をよろしく願います。

柔道部

顧問 大原 満
菊 地 研 吾

今年度3名の新入部員を迎え、男子7名の部員で活動をしてい

練習は、新入部員が3名入部したことで、練習内容は、基本の体力作りから受け身、立技・寝技の基本から始めることになりました。平日は準備運動、基礎的な寝技と立技の練習を主体に活動しています。寝技の打ち



込み、立ち技の打ち込み、乱取りはほんの少しの動き方程度をやっています。その他にサーキットトレーニングや筋力アップのトレーニングなど多彩に活動しています。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で他県への遠征など出来ない状態が続いています。

武道場は、福島県から予算をいただき、畳を購入していただき、全面新しい畳になりました。今年も猛暑の中、技術を向上させるために大いに利用させていただいています。

柔道を始めるとよく聞く言葉があります。「精力善用 自他共栄」という言葉です。「精力」とは心と体のこと。「善用」は良い目的のために使うこと。つまり柔道で鍛えた心と体を良いことに使いなさいということです。

「自他共栄」とは自分だけでなく他の人と助け合いながら良い社会をつくっていくという二つめは「礼に始まり 礼に終わる」という言葉です。大好きな柔道ができ、自分自身が鍛えられるのは、試合相手がいるからであり、そこに道場があるからです。そのことに感謝し尊重する姿勢の表れが「礼」です。柔道を志している人は相手を尊重し感謝の心を大切にしなければなりません。



東北大会にて(秋田県立総合プール)

水泳部

顧問 沢川 順一
岩 澤 巖

水泳部は、16名(3年生6名、2年生5名、1年生5名)で活動しています。本年度は、女子1名が当初マネージャー希望でしたが、途中から選手として登録し大会にも出場しています。バランスの取れた人数構成で、しかも女子が久しぶりに選手登録し、華のある活動ができるようになりまし

本年度は、昨年度に続き機械科3年の齋藤洋太選手が県高校体育大会で200m自由形と400m自由形で優勝、東北大会でも全国大会の標準記録を突破しインターハイに出場する快挙を成し遂げました。また、同選手は、国体選手選考にも選ばれ、県合同合宿にも参加し国体選手としても活躍が期待されました

令和3年度のシーズンはこれからですが、スキーシーズンに向け様々な練習(ランニング、ロード自転車、ローラースキー、登山、サーキットトレ

スキー部

顧問 茂木 利 幸
飯 塚 誠

会津工業高校スキー部はアルペン競技とクロスカントリー競技の2種目で活動しています。昨年度はアルペン、クロカン共に県高校大会で全ての種目で優勝することが出来ました。その上の大会である全国高校スキー大会をはじめ国民体育大会スキー競技会、全国高校選抜スキー大会等に県の代表として全員参加し活躍しました。

令和3年度のシーズンはこれからですが、スキーシーズンに向け様々な練習(ランニング、ロード自転車、ローラースキー、登山、サーキットトレ

ング、水泳、カヌー、ローラーブレード、ウエイトトレーニング、ローラー台自転車などに取り組んでいます。

今年度も基礎体力づくりは充実していたので、これからの雪上合宿でそのトレーニングしてきた体力をスキーの滑走に調整し、県高校大会・県総体で全校への切符を手に入れて今年度は全国レベルの大会で上位入賞を目標にこれから努力して行きたいと思っています。

今シーズンの会津工業高校スキー部の活躍にご期待下さい。(写真は大会の写真です。)



陸上競技部

顧問 石 崎 晃
永 峯 宏 彦
大 石 友 里 恵
境 拓 哉

年度初め、男子29名、女子2名と女子マネジャー3名の合計



34名でスタートしました。大会を前に、陸上競技部の同窓会より、会工オリジナルマスクが部員一同に寄贈されました。ありがとうございました。

コロナ禍で無観客の試合でしたが、高校大会では地区・県・東北大会に参加することができました。地区大会では、走幅跳(高橋琉功)、三段跳(加藤悠)、八種競技(福来海)が優勝し、リレーとフィールドは5位まで

トラックは7位までに絞られた県大会の出場権を20名獲得することができました。いわき市で行われた県大会では、八種競技

(福来海)が2位、円盤投(平野力)が3位、棒高跳(梅宮颯太)が6位となり3名が東北大会に出場しました。残念ながら全国大会には繋がりませんでした。が、コロナに負けずよく頑張ってくれました。

総体の地区大会では、110mH(福来海)、走幅跳(高橋琉功)、三段跳(加藤悠)、少年共通円盤投(平野力)、少年B砲丸投(伊藤希天)、1600mリレーが優勝し、トラック種目は5位以内・フィールド種目は3位以内という厳しい条件でしたが、23名の県総体の出場権を得ることができました。県大会でも、それぞれの種目でよく頑張

りました。特に大学生のチームも含めた1600mリレーでは、久々に決勝に進出し、7位に入賞することができました。現在は、新人チームとして酷暑の中日々鍛錬に励んでいます。これからも、ご支援のほどよろしく願います。

卓球部

顧問 児 島 二 郎
渡 辺 守

卓球部は顧問の児島先生、渡辺守先生のご指導の下、日々活動しています。現在は引退してしま

現在の練習メニューは基礎練



習から始まり、次に多球練習でドライブの威力やフットワークなどを鍛え、自分の苦手な技術を重点的に練習しています。そして、実際の試合を想定した3球目攻撃の練習や、部員それぞれの課題に応じた練習を行っています。また、毎日の筋力トレーニングや夏場での集中的なランニングも行っており、技術だけでなく体の強化にも取り組んでいます。卒業生の方々が練習に参加してくださる時には技術面・メンタル面のアドバイスもいただき、更なる卓球力の向上を目指しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で様々な制約があるなかでも良い成績をたくさん残すことができました。インターハイ地区大会では団体戦3位、ダブルス優勝。総合体育大会地区大会では団体戦優勝。全日本卓

の姿勢を自らが実践することにも、子どもたちにもその精神を伝えていきたいと考えています。

弓道部

顧問 荒木田 優 哉
武 山 小 百 合
野 田 伊 織

球選手権地区大会ではダブルス優勝と準優勝。新人戦地区大会では団体戦優勝、シングルス優勝と準優勝、ダブルス優勝と3位。他にも各大会で多くの選手が県大会出場権を獲得することができました。地区大会だけでなく、県大会でも良い成績を残せるよう、これからも部員全員で努力していきます。日々お世話になっている顧問の先生、卓球関係者の方々に感謝しながら活動していこうと思います。

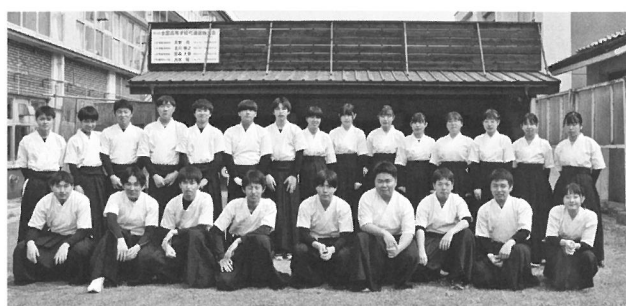
令和3年度は地区インターハイ男子個人1位、2位、3位、4位、男子団体2位、女子個人6位、県インターハイ男子個人ベスト8、地区総体男子個人2位、男子団体2位、県総体男子団体ベスト8という成績を残すことが出来ました。

普段の練習は、射込みから始まり、5立ちの立練習、部内個人戦と行い残りの時間に再度射込みを行っています。また、長期休暇には百射会があり自身の現状を確認するとともに大会で負けない集中力、精神力、体力を養っています。

今後、個人団体ともに全国大会出場を目標に顧問と部員が一丸となり、会津工業高校の伝統を大事にして練習に励んでいきたいです。目標達成に向けて全力で努力していきますので、これからも先輩方の力強いご支援、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく願います。

弓道部

顧問 荒木田 優 哉
武 山 小 百 合
野 田 伊 織



空手部

顧問 佐 藤 聖
部活動指導員 藤 田 忠 重

今年度の空手部は、2年生2人で活動しています。今年度から月、水、木、金の週4日間、外部コーチの藤田さんのご指導

が、本年度の三重国体は県知事の要請により中止となりました。誠に残念であります。また、本年度は、東北大会には齋藤選手の他に電気科3年目黒大翔選手、建築インテリア科2年金田浩輝選手、機械科2年鴨井尚哉選手も出場権を獲得しました。コロナ禍の影響でリレー種目が中止になる中、個人種目だけでこれだけの成績を成し遂げた後輩を褒めていただきたいと思います。

来年度は、是非リレー種目で東北大会に出場したいと考えています。やはり、団体種目ですと、部内に活気ができ盛り上がりやす

ボクシング部

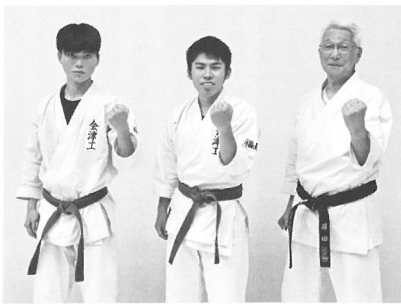
顧問 長谷沼 徹
部活動指導員 遠藤 広大

の下、練習に励んでいます。基本的に忠実に、絶えず新しいことにチャレンジしています。

6月に行われた県大会では、「形」と「組手」にエントリーしました。今年の大会は、コロナの影響もありエントリー数がいつもより少なく入賞のチャンスがありました。しかし、対戦校との練習の差があった為か、試合ではレベルの違いがはつきりと分かりました。

形の部では毎日やっていた練習を本番でしっかりと発揮できました。入賞はできませんでしたが、結果的にはとても価値のある大会となりました。次の新人戦に向けて全力で頑張っています。

空手部は今年も部員は少ないですが、外部コーチの藤田さんと共に楽しく活動しています。部は僕たちの代で廃部となる予定ですが、最後まで高い目標を持って、部員一丸となって頑張っていきたいと思っています。



美術部

顧問 佐瀬 和久



しました。そのおかげか、折れかけていた気持ちに刺激を受け、モチベーションアップにつながりました。

そして、今年8月に行われた北信越総体2021では、悔しさの大きい結果となりましたが、今出せる力を出しきることができました。後輩たちに上位入賞という思いを託す形にはなりませんが、区切りの良い引退となりました。

部活動を通して学んだことを、日々の行動や就職後の生活に活かして、これからも頑張っていきたいと思っています。

最後に、1・2年生の選手とマネージャーが、これからもっともっと成長していきますので、今後とも温かいご声援をお願いいたします。



美術部では、展覧会やコンクールに向けた作品制作に日々取り組んでいます。今年度は、7月に開催した会津地区高校美術連盟展に8点出展し、完成度の高いアクリル画や切り絵を展示することができました。8月には公募のデザインコンクール等にも出品する予定です。2学期以降は10月會津稽古堂で行われる「U・18の作品展」、会工祭での「美術部作品展」、12月に開催予定の「県高校美術展」、1月下旬より喜多方市立美術館で開催される「高校生、あいつ美術展」に参加出品予定です。展覧会に出展する作品はキャンバスに風景画や静物画を描いており、コンクールにはイラストやキャラクターデザインの作品を出品しています。また、高文連主催の「高校生のための実技講習会」に3名が参加し、人物

デッサンの技能を高めました。部員数は少ないですが、表現活動に邁進しています。

吹奏楽部

顧問 栗城 和枝

現在、吹奏楽部は18名で活動しています。小編成ではありませんが、金管木管、打楽器のパートのバランスも整い、取り組める楽曲と表現の領域が広がりました。昨年度はコロナ感染症拡大のため音楽学習発表会や吹奏楽コンクールが中止となり、活動の成果を披露する場面がほとんどなくありませんでした。今年度は万全な感染対策をとりながら



各種大会が開催され、本来の活動が戻りつつあります。

6月には全会津音楽学習発表会と福島県総合文化祭音楽学習発表会に参加し、1年ぶりのステージ演奏を披露いたしました。夏の吹奏楽コンクール会津支部大会では、「小編成の部」に出場し金賞を受賞しました。30名編成の団体が多い中、本校吹奏楽部は少人数での出場ではありましたが、部員一人一人がパートの役割を果たし堂々と演奏してまいりました。作品の背景にある物語を音で表現し、楽曲に潜む魅力を引き出すことに全力で取り組み、貴重な経験を積むことができました。

吹奏楽部は感染リスクの高い部活動として時間的制限や物理的制約が多い活動を強いられています。そのような中でも生徒達は様々な工夫を凝らし明るさと活気を失わず直向きに活動しています。今後の取り組みとしては文化祭に向けて演奏会を企画し、様々なジャンルのレパートリーを増やします。部員一丸となってアイデアを出し合い創造性豊かなステージを作り上げる予定です。

後輩の活動を見守り支えて下さる先輩方の期待に応えるためにも、より一層の努力を重ね活発な活動を展開していきます。今後とも諸先輩方のご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

演劇部

顧問 井関 有希子

演劇部は現在、3年生5名、2年生8名、1年生6名の計19名が在籍しています。夏からは1・2年生での活動が始まりました。演劇部には6月の「春の発表会」と9月の「秋のコンクール」の2つの大会があります。でも、上位大会に進める大会は秋のコンクールのみです。この唯一のチャンスを掴めるように、県大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

演劇部は、発声、滑舌などの練習を通して、劇をする上で必要な声量や体力などの基礎力向上に努めています。大会が近づくと、上演する台本を作成し、完成するとその読み込みや役作りをします。そして舞台設定や



写真部

顧問 武田 秀幸
片寄 悦広

演出を考え、劇を形にしています。部員同士で意見を出し合いながら進めますが、時には意見がぶつかり合うこともあります。でも、そうして部員全員が思いを込めて作り上げるからこそ、上演後にこの上ない達成感と演劇の楽しさを感じられるのだと思っています。

今後、演劇部が目指す活動は、普段は明るく、楽しく、元気よく、やるべき時にはしっかりとできる、メリハリがある部活動です。達成できるように部員全員で成長していきたいです。引退する時に「やって良かった」と思えるような部活動を創っていきます。

私達写真部は、週3回（月・火・金曜日）活動することになっていますが、新型コロナウイルスの影響で個別に学校内での日常生活や学校周辺の風景・史跡等を撮影するなど自粛した活動になっているのが現状でしたが、昨年に引き続き今年も、市内の他校写真部と一緒に写真撮影技術講習会に参加し、講師の方から撮影技術を学んだり作品を講評してもらうなど県の写真展に出品し、優秀作品に選ばれることを目標に意欲的に活動するきっかけとすることができました。

建築インテリア部

顧問 高橋 弘光



今10月11日現在、福島県内では新型コロナウイルスの感染者数もかなり減り、当局が発表する1日の感染者数はゼロ人と発表される日もあり、かなり落ち着いてきています。そんな中でも建築インテリア部の活動は、感染防止策を守りながら普通通りに活動してきました。

夏休み中に実施された資格試験、『3級技能検定（建築大工）』へのチャレンジは、5名が受験

まずは、10月23・24日に開催される文化祭に向けての作品の制作に取り組んでいるところです。来場制限があり多くの方々鑑賞していただくことはできないものの、個性的な作品を展示できるよう部員一同頑張っています。

し4名が合格することが出来ました。1名は学科試験には合格したもの、実技試験でアクションで実力が発揮出来ず不合格に。しかしこの資格試験は年2回実施されるので、この冬の再チャレンジに燃えているところです。

10月15日には郡山北工業高校で『ものづくりコンテスト2021』が控えています。建築科がある会津工業高校、福島工業高校、郡山北工業高校、勿来工業高校の4校から4名ずつ、練習に練習を重ねた選手が集まり、木工の技術を競い合うコンテストです。課題は難しいですが生徒の技術はハイレベルなので、審査員は外部から招いて厳密に、正しさ、速さ、仕上りの美しさをじっくり時間をかけて評価がされていきます。

プロの世界でも機械での加工が当たり前になって、機械が凄



いのか人が凄いのかが分からなくなっただ中で、生徒は機械を使わず昔からの伝統の技法を継承して、まさに至天「プロフェッショナル仕事の流儀」の様に、部員それぞれが新たな挑戦を楽しむかの様に取り組んでいます。高校生なのに凄腕前の部員達。素晴らしい！

工祭へ向け準備で忙しいですが、ろくろ体験とミニセと市を企画し頑張っているのぞひ足を運んでもらいたいと思います。

地域貢献班では、コロナウイルス感染症の影響のため外部のイベント等が中止になり思うような活動ができていませんが、いつでも声を掛けられてもいいようにしています。

セラミック化学部は、現在15名が所属しており、陶芸班、地域貢献班、化学分析班の3班構成で活動しています。

陶芸班では、全国セラミック協会主催の美展で最優秀賞、県展では出展した3名の作品が入賞を果たしました。現在は、会



化学分析班では、10月末に行われるものづくりコンテストへ出場し、上位入賞することを目標に頑張っています。自分自身と向き合いながら一つ一つの細かい作業を集中して行うので大変な部分もありますが、しっかりと目標を達成できるように頑張りたいです。



・一般貨物運送業(ダンパー) 東北自貨第557号
・産業廃棄物収集運搬業 第000704031596号
・建設工事業(土木、建築) 福島県知事(般-3)第25258号

有限会社 会津金山運輸

代表取締役 栗城 秀一

〒968-0322 大沼郡金山町大字横田字高根沢72-4
TEL 0241-56-4161 FAX 0241-56-4363

株式会社 山口設計

(一社)福島県建築士事務所協会員
福島県建築設計協同組合員
(一社)日本CLT協会会員
天井診断士会員

代表取締役会長 一級建築士・住宅性能評価員

山口 一男

CMAJ正会員

[猪苗代本店] 〒969-3121 福島県耶麻郡猪苗代町字津金沢54番地
TEL(0242)62-4310(代) FAX(0242)62-4381

[若松本社] 〒965-0013 福島県会津若松市堤町11番9号
TEL(0242)23-7781(代) FAX(0242)23-7791
http://www.yamarchi.com
E-mail: archi@yamaguchi.email.ne.jp

事務所: 喜多方事務所・中央事務所・東北事務所

有限会社 五十嵐総合事務所

土地家屋調査士・行政書士事務所

建築設計 黎明住宅相談室
宅建取引業 住地サービス

代表取締役 五十嵐 一夫 (昭43A)

【土地家屋調査士・宅建物取引主任者】
【一級建築士・インテリアプランナー・行政書士】

事務所 福島県河沼郡会津坂下町字沢ノ目1713番地5

(厚生病院・バス停)
TEL(0242)83-0107

SIGMA

宴会・会合・無尽

割烹
萬里

ユネスコ
無形文化遺産 和食

〒965-0871 会津若松市栄町 4-37 (清水通り)

●営業時間 17:00 ~ 23:00 ●定休日 日曜日 (不定休)

TEL (0242) 22-8502 FAX(0242) 27-5790

割烹 萬花楼

ご予約・お問い合わせ

tel.0242-27-4567 fax.0242-29-0415

http://mangerou.com

〒965-0872 福島県会津若松市東栄町10-6

なごみ成年後見事務所

司法書士 栗城 和夫 (昭41M)

〒965-0037 会津若松市中央一丁目4番31号
TEL 0242 (25) 3774
FAX 0242 (25) 1240



滝谷建設工業株式会社

代表取締役社長 田中 智仁

■本社 〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下177番地
TEL(0241)52-3131(代) FAX(0241)52-3143
URL https://www.takiya.co.jp
■会津若松店 〒965-0042 福島県会津若松市大町一丁目2番8号
TEL(0242)24-3511(代) FAX(0242)25-0940
■喜多方支店 〒966-0802 福島県喜多方市字桜力丘二丁目34番地3
TEL(0241)23-5900 FAX(0241)23-5901



東京海上日動火災保険株式会社 代理店
東京海上日動あんしん生命保険株式会社 代理店

株式会社 ガーディアン

取締役

岩本 光正



超保険

〒965-0818 福島県会津若松市東千石1丁目4-13 1F
Tel.0242-38-3055 Fax.0242-23-8761
E-mail: guardian@marble.ocn.ne.jp

創業明治三十五年
伝統的産業工芸品指定 会津本郷焼窯元

株式会社 凍紋焼

〒969-6041
福島県大沼郡会津美里町字川原町1933
TEL (0242) 56-2221(代)
FAX (0242) 56-2223
E-mail: yumita@ryuumon.co.jp
http://www.ryuumon.co.jp

一級建築士事務所 構造設計 耐震診断 耐震補強設計 構造監理

有限会社 和 構造設計事務所

代表取締役 菊地 和彦
(構造設計一級建築士)

〒965-0011 会津若松市鶴賀町2番10号
TEL(0242)32-3939 FAX(0242)22-3585
E-mail:kazukozo@sky.plala.or.jp

自然との調和を大切に



総合建設業

永島建設株式会社

代表取締役 永島 隆治

〒969-6183 福島県会津若松市北会津町上米塚1235-2
Phone 0242-56-3230 FAX 0242-56-2662
E-mail:t-nagakk@atlas.plala.or.jp

発展と地域社会のために。
株式会社 弓田建設

代表取締役 弓田 八平



本社 〒965-0057 会津若松市町北町大字藤室字藤室721-1
TEL. 0242-32-0311 FAX. 0242-24-0087
郡山営業所 〒963-8833 郡山市香久池2丁目10-13
TEL. 024-973-8355 FAX. 024-973-8356
E-mail:yahei-yumita@yumita.co.jp
URL http://www.yumita.co.jp



五十嵐石材

福島県知事許可(般-22)第27639号
日本石材産業協会認証お墓ディレクター

代表 五十嵐 幸夫

〒969-2663
福島県耶麻郡猪苗代町大字川桁字道上9-1
TEL/FAX(0242)66-2608

一級建築士事務所



有限会社 北斗設計

代表取締役 佐藤 満
一級建築士

(本社) 〒969-6267 福島県大沼郡会津美里町字西裏1764
TEL. 0242(54)7305 FAX. 0242(54)7306
E-mail: hokuto-m@agate.plala.or.jp
(若松支社) 〒965-0003 福島県会津若松市一箕町大字八幡字墓料36-17
TEL・FAX. 0242(88)9119



株式会社 荒井工務店

荒井 誠一

〒969-6107 福島県大沼郡会津美里町字新用地197番地
TEL(0242)56-2587 FAX(0242)56-3587
E-mail:qq3s6c69@proof.ocn.ne.jp



設計・監理・施工
一級建築士設計事務所
アイザワ設計室

一級建築士 藍澤 弘幸
AIZAWA HIROYUKI

会津若松市五月町137
TEL・FAX(0242)37-2840
自宅(0242)29-3810
携帯 090-5231-3376

有限会社 倉工房

代表取締役 倉本 浩二

〒965-0021
会津若松市山見町225番13
TEL:0242-93-5400
FAX:0242-93-5401



TOTAL SIGN
& DESIGN

各種看板・屋内外サイン

有限会社 東海堂アール工藝

〒965-0830 会津若松市西年貢二丁目2-14
TEL:(0242)27-8610 FAX:(0242)26-7790



代表取締役

新井 正人

一級建築士/構造設計一級建築士/構造計算適合判定資格者

一級建築士事務所

有限会社 アルファ建築設計

〒965-0804 福島県会津若松市花春町7番67号
TEL(0242)26-5225
FAX(0242)26-5295
E-mail:alpha.arai@nifty.com

各支部役員名

地 区	役 職	名 前	卒業年	
東 京	名 誉 顧 問	室 井 忠 六	S24T	
	顧問	五十嵐 栄	S24T	
	〃	石 綿 弘	S34T	
	〃	鷺 川 平四郎	S21L	
	〃	五十嵐 清 夫	S33K	
	〃	岡 島 文 善	S29C	
	〃	田 場 川 雄 輝	S27M	
	〃	金 子 昌 輝	S32A	
	〃	五十嵐 中 昭 健 夫	S35A	
	〃	田 堀 雅 孝	S42E	
	〃	伊 藤 孝 宏	S36E	
	〃	戸 野 部 武 彦	S38M	
	〃	中 島 上 雅 強	S40M	
	〃	水 渡 上 雅 俊	S41G	
	〃	〃	S46M	
	〃	〃	S44M	
	〃	〃	S40M	
	〃	〃	S43E	
	〃	〃	S34K	
	東 海	〃	〃	S43K
〃		〃	S41T	
〃		〃	S39K	
〃		〃	S35C	
〃		〃	S37C	
〃		〃	S46C	
〃		〃	S43G	
〃		〃	S43G	
〃		〃	S43G	
〃		〃	S40A	
〃		〃	S40A	
〃		〃	S40A	
〃		〃	S46A	
〃		〃	S30E	
〃		〃	S31A	
〃		〃	S31T	
〃		〃	S31T	
〃		〃	S36E	
近 畿		〃	〃	S35A
		〃	〃	S33K
	〃	〃	S41A	
	〃	〃	S41G	
	〃	〃	S35T	
	〃	〃	S36T	
	〃	〃	S45A	
	〃	〃	S48M	
	〃	〃	S58A	
	〃	〃	S56M	
	〃	〃	S42E	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S31T	
	〃	〃	S30C	
	〃	〃	S32T	
	〃	〃	S43T	
	〃	〃	S44M	
	〃	〃	S45M	
	若 松	〃	〃	S31E
		〃	〃	S31C
〃		〃	S39E	
〃		〃	S37T	
〃		〃	S34M	
〃		〃	H16M	
〃		〃	S35K	
〃		〃	H13E	
〃		〃	S32K	
〃		〃	S38K	
〃		〃	S40E	
〃		〃	S43E	
〃		〃	S43G	
〃		〃	S34E	
〃		〃	S41M	
〃		〃	S41K	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S40E	
〃		〃	S51A	
日 立 会 工 会		〃	〃	S28A
	〃	〃	S42M	
	〃	〃	S43M	
	〃	〃	S55M	
	〃	〃	S58A	
	〃	〃	S52M	
	〃	〃	H06D	
	〃	〃	H05D	
	〃	〃	S35T	
	〃	〃	S40E	
	〃	〃	S33K	
	〃	〃	S31E	
	〃	〃	S39E	
	〃	〃	S37T	
	〃	〃	S34M	
	〃	〃	S32K	
	〃	〃	S38C	
	〃	〃	S58D	
	〃	〃	S42D	
	三 菱 製 鋼 (株)	〃	〃	S30K
〃		〃	S45D	
〃		〃	S39K	
〃		〃	S49A	
〃		〃	S50E	
〃		〃	S40G	
〃		〃	S33T	
〃		〃	S34E	
〃		〃	S43E	
〃		〃	S48K	
〃		〃	S28A	
〃		〃	S27E	
〃		〃	S32E	
〃		〃	S34A	
〃		〃	S39A	
〃		〃	S48A	
〃		〃	S37L	
〃		〃	S36M	
〃		〃	S37M	
〃		〃	S45A	
日 立 会 工 会	〃	〃	S47F	
	〃	〃	S43A	
	〃	〃	S45A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S55A	
	〃	〃	H05A	
	〃	〃	S54A	
	〃	〃	H08A	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	日 立 会 工 会	〃	〃	S48K
〃		〃	S28A	
〃		〃	S27E	
〃		〃	S32E	
〃		〃	S34A	
〃		〃	S39A	
〃		〃	S48A	
〃		〃	S37L	
〃		〃	S36M	
〃		〃	S37M	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S47F	
〃		〃	S43A	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S55A	
〃		〃	H05A	
〃		〃	S54A	
〃		〃	H08A	
日 立 会 工 会	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	〃	〃	S48K	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S27E	
	〃	〃	S32E	
	〃	〃	S34A	
	〃	〃	S39A	
	〃	〃	S48A	
	〃	〃	S37L	
	〃	〃	S36M	
	〃	〃	S37M	
〃	〃	S45A		
日 立 会 工 会	〃	〃	S47F	
	〃	〃	S43A	
	〃	〃	S45A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S55A	
	〃	〃	H05A	
	〃	〃	S54A	
	〃	〃	H08A	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	日 立 会 工 会	〃	〃	S48K
〃		〃	S28A	
〃		〃	S27E	
〃		〃	S32E	
〃		〃	S34A	
〃		〃	S39A	
〃		〃	S48A	
〃		〃	S37L	
〃		〃	S36M	
〃		〃	S37M	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S47F	
〃		〃	S43A	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S55A	
〃		〃	H05A	
〃		〃	S54A	
〃		〃	H08A	
日 立 会 工 会	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	〃	〃	S48K	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S27E	
	〃	〃	S32E	
	〃	〃	S34A	
	〃	〃	S39A	
	〃	〃	S48A	
	〃	〃	S37L	
	〃	〃	S36M	
	〃	〃	S37M	
〃	〃	S45A		
日 立 会 工 会	〃	〃	S47F	
	〃	〃	S43A	
	〃	〃	S45A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S55A	
	〃	〃	H05A	
	〃	〃	S54A	
	〃	〃	H08A	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	日 立 会 工 会	〃	〃	S48K
〃		〃	S28A	
〃		〃	S27E	
〃		〃	S32E	
〃		〃	S34A	
〃		〃	S39A	
〃		〃	S48A	
〃		〃	S37L	
〃		〃	S36M	
〃		〃	S37M	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S47F	
〃		〃	S43A	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S55A	
〃		〃	H05A	
〃		〃	S54A	
〃		〃	H08A	
日 立 会 工 会	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	〃	〃	S48K	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S27E	
	〃	〃	S32E	
	〃	〃	S34A	
	〃	〃	S39A	
	〃	〃	S48A	
	〃	〃	S37L	
	〃	〃	S36M	
	〃	〃	S37M	
〃	〃	S45A		
日 立 会 工 会	〃	〃	S47F	
	〃	〃	S43A	
	〃	〃	S45A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S55A	
	〃	〃	H05A	
	〃	〃	S54A	
	〃	〃	H08A	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	日 立 会 工 会	〃	〃	S48K
〃		〃	S28A	
〃		〃	S27E	
〃		〃	S32E	
〃		〃	S34A	
〃		〃	S39A	
〃		〃	S48A	
〃		〃	S37L	
〃		〃	S36M	
〃		〃	S37M	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S47F	
〃		〃	S43A	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S55A	
〃		〃	H05A	
〃		〃	S54A	
〃		〃	H08A	
日 立 会 工 会	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	〃	〃	S48K	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S27E	
	〃	〃	S32E	
	〃	〃	S34A	
	〃	〃	S39A	
	〃	〃	S48A	
	〃	〃	S37L	
	〃	〃	S36M	
	〃	〃	S37M	
〃	〃	S45A		
日 立 会 工 会	〃	〃	S47F	
	〃	〃	S43A	
	〃	〃	S45A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S55A	
	〃	〃	H05A	
	〃	〃	S54A	
	〃	〃	H08A	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	日 立 会 工 会	〃	〃	S48K
〃		〃	S28A	
〃		〃	S27E	
〃		〃	S32E	
〃		〃	S34A	
〃		〃	S39A	
〃		〃	S48A	
〃		〃	S37L	
〃		〃	S36M	
〃		〃	S37M	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S47F	
〃		〃	S43A	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S55A	
〃		〃	H05A	
〃		〃	S54A	
〃		〃	H08A	
日 立 会 工 会	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	〃	〃	S48K	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S27E	
	〃	〃	S32E	
	〃	〃	S34A	
	〃	〃	S39A	
	〃	〃	S48A	
	〃	〃	S37L	
	〃	〃	S36M	
	〃	〃	S37M	
〃	〃	S45A		
日 立 会 工 会	〃	〃	S47F	
	〃	〃	S43A	
	〃	〃	S45A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S51A	
	〃	〃	S55A	
	〃	〃	H05A	
	〃	〃	S54A	
	〃	〃	H08A	
	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	
	〃	〃	S49A	
	〃	〃	S50E	
	〃	〃	S40G	
	〃	〃	S33T	
	〃	〃	S34E	
	〃	〃	S43E	
	日 立 会 工 会	〃	〃	S48K
〃		〃	S28A	
〃		〃	S27E	
〃		〃	S32E	
〃		〃	S34A	
〃		〃	S39A	
〃		〃	S48A	
〃		〃	S37L	
〃		〃	S36M	
〃		〃	S37M	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S47F	
〃		〃	S43A	
〃		〃	S45A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S51A	
〃		〃	S55A	
〃		〃	H05A	
〃		〃	S54A	
〃		〃	H08A	
日 立 会 工 会	〃	〃	S28A	
	〃	〃	S30K	
	〃	〃	S45D	
	〃	〃	S39K	

会工同窓会本部役員

役職名	氏 名	卒年	備 考
顧問	若狭春生	S38K	本部選出・松江春次顕彰会会長
顧問	藤田晴史	S40E	本部選出
会 長	浅田 誠	S43E	本部選出
筆頭副会長	荒井 誠一	S49A	本部選出
副 会 長	荒川富士雄	S43M	本部選出
副 会 長	田中健一	S42E	東京会工学生会・参与
副 会 長	栗城和夫	S41M	機友会会長・参与
幹 事 長	木村洋一	S50K	本部選出
副幹事長	佐藤義之	S42M	本部選出
副幹事長	石田 功	S43G	本部選出・若松会工学生会・参与
副幹事長	白井達夫	S43E	本部選出・会工電友会事務局長
副幹事長	菊地壽雄	S48D	本部選出・会報編集委員長
副幹事長	渡部 哲	S52M	本部選出
幹 事	江花光泰	S31L	本部選出・会報編集委員
幹 事	渡部昭寿	S34E	本部選出・会報編集委員
幹 事	安藤昭男	S35T	本部選出
幹 事	近藤信行	S40E	本部選出
幹 事	長谷川利彦	S41K	本部選出
幹 事	武田芳仁	S47M	本部選出
幹 事	野中寿勝	S50E	本部選出
幹 事	長尾好章	S50T	本部選出
幹 事	菅原正晴	S51A	本部選出・建友会副会長
幹 事	田勢光夫	S51A	本部選出・若松会工会幹事長・会報編集委員
幹 事	岩 渕 浩之	S54L	本部選出
幹 事	森田哲郎	S55M	本部選出
幹 事	渡部優生	S55M	本部選出
幹 事	佐藤 満	S56A	本部選出
幹 事	村澤 智	S62E	本部選出
幹 事	渡部恵千子	H06D	本部選出
幹 事	戸野部武彦	S40M	東京会工会幹事長
幹 事	五十嵐 強	S48M	東海会工会幹事長
幹 事	本名雄一	H13E	近畿会工会事務局長
幹 事	佐藤 亨	S38C	郡山会工会幹事長
幹 事	星 秀明	S40E	福島会工会幹事長
幹 事	遠藤幸喜	S59A	坂下会工会幹事長
幹 事	長谷川与一	S40E	猪苗代会工会副会長
幹 事	梅宮 昭	S39A	いわき会工会幹事長
幹 事	佐野常雄	S31E	湯川会工会幹事長
幹 事	菊地登貴雄	S52M	機友会幹事長
幹 事	青山孝男	S43K	セラ友会幹事長
幹 事	五十嵐慧夫	S26M	日立会工学生会

役職名	氏 名	卒年	備 考
幹 事	二瓶雅孝	H04J	日昔金属化学協会工学生会
幹 事	大塚裕一郎	H03C	昭和電工(株)会工学生会
幹 事	珊瑚優治	S59C	三菱製鋼(株)広田製作所会工学生会
幹 事	高橋 誠	S60E	三菱マテリアル(株)若松製作所鶴友会会長
幹 事	徳永正浩	S55E	東京電力パワーグリッド猪苗代電力所会工会長
監 事	二瓶正人	S37K	前セラ友会会長
監 事	小山源昭	S38A	前建友会会長
監 事	鹿目忠明	S40E	会工電友会会長・参与
参 与	高梨哲夫	S55M	会津工業高等学校校長
参 与	田中健一	S42E	副会長・東京会工学生会
参 与	三井正春	S41A	東海会工学生会
参 与	石川善一	S39E	近畿会工学生会
参 与	石田 功	S43G	副幹事長・若松会工学生会
参 与	福地 勝	S30M	郡山会工学生会
参 与	二瓶嘉人	S39E	福島会工学生会
参 与	星 武	S27E	前福島会工学生会
参 与	渡部正司	S47D	坂下会工学生会
参 与	五十嵐一夫	S43A	前坂下会工学生会
参 与	江花俊和	S37T	猪苗代会工学生会
参 与	山口一男	S37A	前猪苗代会工学生会
参 与	栗木俊昭	S45D	会津美里会工学生会
参 与	佐野容昭	S32E	いわき会工学生会
参 与	白井武男	S45A	建友会会長
参 与	鹿目忠明	S40E	会工電友会会長・監事
参 与	栗城和夫	S41M	機友会会長・監事
参 与	梨子本 傑	S41K	セラ友会会長
参 与	渡部洋子	S32K	前セラ友会会長
参 与	曾根賢治	S36L	前会工美術会会長
参 与	坂内茂男	S32K	前監事
参 与	関場一宏	S33K	前監事
事務局長	中丸 淳	S55K	事務全般
事務局	大濱達明	S55K	会報編集委員
事務局	菅家慶広	S56A	事務全般
事務局	真田郁夫	S57E	会報編集委員
事務局	馬場正丈	H02M	会報編集委員
事務局	永峯宏彦	H11M	寄贈マイクロバス管理運営
事務局	星 義一	H12A	鶴翔会館管理運営
事務局	渡辺 学	H13A	本部会計
事務局	太刀川 光	H20F	会報編集委員
事務局	佐々木夏美	H28A	会報編集委員
事務局	矢部晃太郎	H28A	本部会計



**次回第115回総会は
2022年10月15日(土)に開催しますので、
是非ご参加ください！**



同窓会会報編集委員

同窓会会報編集委員長
荒川 富士雄

追伸、本校舎玄関前の校歌碑と校舎玄関上の校章が新しくなりました。是非ご覧ください。
同窓会会報編集委員長
荒川 富士雄

私編集委員長として10年続けたのも、同窓生皆様のご協力があったからこそ心より感謝と御礼を申し上げます。今後、新委員長の下、ますます会報が充実して発行されますことを祈念致します。

編集後記

昨年からのコロナが収束しないでも様々な活動が中止になった年です。会工同窓会総会も2年続けて中止となりました。各支部や企業会、修養会も活動が出来ない状態のようです。でも、いよいよ会工高創立120周年の記念事業に向かって組織が立ち上がりました。会報発行は勿論ですが、記念誌発行も予定されており、記念事業の成功を願ひ、更なる皆様のご協力をお願いいたします。